

ISSN0289~0712

川崎市青少年科学館年報

第 42 号
2023 年度

ANNUAL REPORT OF THE
KAWASAKI MUNICIPAL SCIENCE MUSEUM

No.42
2023-2024

川崎市青少年科学館
(かわさき宙と緑の科学館)

目 次

はじめに	1
第1章 概要	
1 沿革	1
2 施設	2
(1) 施設概要	
① 所在地	
② 敷地面積	
③ 建築	
(2) 各施設	
① 自然学習棟	
② 研究管理棟	
(3) 屋外展示	
3 運営組織及び職員	4
(1) 組織構成	
(2) 職員	
4 川崎市社会教育委員会議 青少年科学館専門部会	5
(1) 設置根拠	
(2) 活動内容	
第2章 令和5年度事業報告	
新型コロナウイルス感染症拡大防止としての科学館対応	6
1 利用状況	7
2 収集保存事業	8
(1) 自然関係収蔵資料の分類・整理（台帳化）	8
① 収蔵標本（自然史資料）の整理および配架状況	
② 分類群ごとの標本作製	
(2) G B I F等国内外機関への自然史資料情報の提供	8
(3) 収蔵庫研究利用実績	8
(4) プラネタリウム番組アーカイブ化	8
(5) 太陽表面観測データ整理	8
(6) 天文資料整理	8
(7) 所蔵図書および文献資料の整理	8
(8) 資料燻蒸	9
(9) 科学実験データ共有化	9
(10) 開発実験器具等の保管	9
3 展示事業	9
(1) 自然	9
① 常設展示	
② リアルタイムな情報発信	
③ 新たな自然史資料による常設展示の更新	
(2) 天文	10
① プラネタリウム一般投影	
② プラネタリウム一般団体貸切利用「星空自由空間」	
③ 星空ゆうゆう散歩	
④ ベビー&キッズアワー	
⑤ プラネタリウム学習投影	

⑥ 天文関連展示	
(3) 科学	18
① 常設展示	
4 調査研究事業	18
(1) 学芸員・職員等による調査研究	18
① 川崎市域の生物調査	
② ムネアカハラビロカマキリ調査	
③ 川崎市域の星の見え方調査	
④ 天体の観測	
⑤ 気象観測	
⑥ ワクワクドキドキ玉手箱の改良・新規開発	
(2) 外部研究者の受入	19
(3) 生田緑地産ホトケドジョウ人工飼育・増殖	19
(4) 市域の生物調査および自然史資料(標本)収集・作製	19
5 教育普及事業	19
おうちで楽しむデジタル科学館	
① おうちでまなぼう!生き物と自然(自然)	
② おうちでプラネタリウム(天文)	
③ おうちでワークショップ(科学)	
(1) 自然	20
① 生田緑地観察会	
② サイエンス教室(自然)	
③ 自然サポーター研修会	
④ 地層観察	
⑤ 林の観察	
⑥ 総合的な学習の時間における学習支援	
(2) 天文	23
① 星を見る夕べ	
② 出前教室(かわさき星空ウォッチング)	
③ 天文サポーター	
④ サイエンス教室(天文)	
⑤ プラネタリウムでのイベント	
⑥ 天文講演会	
⑦ アストロテラス公開	
⑧ プラネタリウムワークショップ	
⑨ プラネタリウム発表会	
-1 市民プラネタリウム発表会	
-2 高校生によるプラネタリウム発表会	
⑩ プラネタリウム特別投影	
(3) 科学	28
① サイエンス教室(科学)	
② サイエンスワークショップ	
-1 サイエンスワークショップ	
-2 サイエンスショー	
③ 子ども創意くふう教室	
④ 出前科学実験教室	
⑤ かわさきサイエンスチャレンジ「科学と遊ぼう!ワクワクドキドキ玉手箱」	
⑥ 科学サポーター研修会	
⑦ 出前教室	
⑧ ゆうゆう広場科学実験教室	

⑨ 「ワクワクドキドキ玉手箱」の活用	
⑩ 「夏休み そらみど♪小学生おしごと体験」	
(4) 出版事業	35
① 川崎市青少年科学館紀要 第34号 論文・報告・記録 目録	
② 企画展図録	
(5) その他	35
新聞記事を含む普及的著作	
6 ネットワーク事業	35
(1) 展示・企画	35
① 科学講座「かながわりレー科学教室」	
② F I E L D M U S E U M展：親子で楽しく学べるカガクおもちゃ	
③ 市制100周年記念プレ事業「かわさきの環境・100年」	
(2) 調査研究・収集保存	36
① 川崎市域の生物調査	
(3) 学習支援	36
① 職場体験・職業インタビュー	
② 中学校連合文化祭開催への協力	
③ 教員研修会	
④ 教職員社会体験研修	
⑤ 博物館実習	
⑥ 川崎市小学校理科優秀作品展	
⑦ 川崎市中学校理科優秀作品展	
(4) 地域振興・生田緑地内	38
① 川崎市立多摩図書館との連携事業「物語でめぐる星の世界 その8 ～猫が見上げた宇宙～」	
② 多摩区民祭	
③ 生田緑地お月見フェスタ	
④ 日本民家園との連携事業「七夕体験」「お月見デー」の実施	
⑤ 川崎天文同好会70周年記念式典・市民天文講演会	
⑥ 非日常のひぎわいイベント「登戸・遊園 ミライノバ ハレの日」	
(5) 生田緑地内施設及び指定管理者との広報活動の推進、各施設の回遊性の向上	39
① 夏休み生田緑地スタンプラリー	
② 生田緑地関係者による連携・協力	
(6) 博物館連携	39
7 広報活動	40
(1) ホームページアクセス数等	40
(2) 外部メディアにおける情報提供数	40
8 他施設交流	40
第3章 資料	
1 刊行物	40
2 利用案内	40

はじめに

川崎市青少年科学館は、生田緑地（179.7ha）に立地する、市内唯一の自然科学系の登録博物館である。

平成 24 年 4 月 28 日に通称「かわさき^{そら}宙と緑の科学館」としてリニューアルオープンし、最新鋭のプラネタリウム設備および一新された展示設備等を備えた自然学習棟、調査研究や資料収集等の設備を備えた研究管理棟から成っている。

館では、これらの設備や周囲の自然環境などを活用しながら、自然、天文、科学の各分野において、教育普及、調査研究、資料の収集保存等に取り組んでいる。



第 1 章 概要

1 沿革

年月日		沿革
昭和 44 (1969) 年	10月	(仮称) こども科学館構想
46 (1971) 年	8月15日	プラネタリウム館開館
	11月21日	D51 型蒸気機関車引渡式
47 (1972) 年	7月 1日	川崎市青少年科学館協議会設置
	7月21日	全国科学博物館協会・日本博物館協会・日本天文学会加入
48 (1973) 年	6月15日	神奈川県博物館協会加入
49 (1974) 年	4月27日	日本プラネタリウム協会加入
	7月 3日	青少年科学館本館基本構想答申
55 (1980) 年	2月	プラネタリウム機種更新 (GMII-16-T)
57 (1982) 年	2月27日	青少年科学館本館開館 天体観測室設置
	5月28日	博物館登録
58 (1983) 年	3月20日	青少年科学館本館展示室開館
	4月 1日	第 1 次川崎市自然調査開始
63 (1988) 年	4月 1日	第 2 次川崎市自然調査開始
		第 3 次川崎市自然調査開始
平成 3 (1991) 年	4月 1日	施設の管理運営を(財)川崎市市民ミュージアムに委託
5 (1993) 年	4月 1日	(平成 11 年 4 月から(財)川崎市博物館振興財団に名称変更、平成 17 年 4 月から(財)川崎市生涯学習財団に統合)
7 (1995) 年	4月 1日	第 4 次川崎市自然調査開始
10 (1998) 年	3月31日	青少年科学館基本構想策定
11 (1999) 年	4月 1日	第 5 次川崎市自然調査開始
15 (2003) 年	4月 1日	第 6 次川崎市自然調査開始
	11月 1日	メガスターⅡ公開 (平成 16 年 4 月 1 日から通年公開)
17 (2005) 年	3月31日	生田緑地整備基本計画策定 (環境局)
18 (2006) 年	4月 1日	施設の管理運営を(財)川崎市生涯学習財団から直営に移行
19 (2007) 年	4月 1日	第 7 次川崎市自然調査開始
20 (2008) 年	11月	青少年科学館改築基本計画策定
21 (2009) 年	3月	青少年科学館改築基本設計
22 (2010) 年	3月	青少年科学館改築実施設計
	8月	改築工事開始
23 (2011) 年	10月 1日	改築工事に伴い休館 (平成 24 年 4 月 27 日まで)
24 (2012) 年	1月	市民公募により決定した通称「かわさき宙(そら)と緑の科学館」、愛称「サイエンスプリン」、マスコットキャラクター「かわさきぷりん」の使用開始
	3月	川崎市青少年科学館運営基本計画策定、改築工事終了
	4月28日	リニューアルオープン、MEGASTAR-III FUSION 公開
25 (2013) 年	4月	指定管理者制度導入 (学芸部門は直営) 移動天文車「アストロカー」導入 (出前天文観測教室に利用)
30 (2018) 年	4月	指定管理者制度 第 2 期開始
令和 3 (2021) 年	8月	開館 50 周年
5 (2023) 年	3月	第 2 期川崎市青少年科学館運営基本計画策定
	4月	指定管理者制度 第 3 期開始

2 施設

(1) 施設概要

① 所在地

川崎市多摩区枡形7丁目1番地2

② 敷地面積

3854.40 m²

③ 建築

自然学習棟

建築年月日 平成24年3月22日

建築構造 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造3階建て

建築面積 1528.52 m²

研究管理棟

建築年月日 昭和57年2月27日(平成24年3月30日改修)

建築構造 鉄筋コンクリート造2階建て

建築面積 617.43 m²

(2) 各施設

① 自然学習棟



展示室	川崎の自然・生物等に関する展示物を設置している。
プラネタリウム	最新鋭の投影システム「MEGAS TAR-III FUSION」により、精緻な星空投影を実施している。
学習室	学習会、講演会、企画展示等を行うための設備を備えている。
実験室	基礎から応用まで様々な科学実験を可能とする設備を備えている。

自然学習棟各室別面積

自然学習棟 (延床面積 2149.29 m ²)			
1階	1509.17 m ²	2階	577.78 m ²
展示室	379.89 m ²	学習室1	64.08 m ²
プラネタリウム	388.62 m ²	学習室2	62.01 m ²
ホール	248.61 m ²	学習室3	62.01 m ²
カフェテリア	114.74 m ²	実験室	92.93 m ²
その他	377.31 m ²	その他	296.75 m ²
		3階	62.34 m ²

②研究管理棟



研究管理棟各室別面積

- 標本製作室 標本整理のための作業台及び標本作成のための設備を備えている。
- 展示製作室 展示資料の更新作業等を行うための設備を備えている。
- 収蔵庫 生田緑地内および川崎市域等で収集された標本類を適切に保存するための設備を備えている。
- 調査研究室 職員、市民団体が自然に関する調査研究を行うための設備を備えている。
- 天体観測室 40 cm反射望遠鏡、天体撮影装置等、天文の調査研究を行うための設備を備えている。

研究管理棟（延床面積 929.00 m ² ）			
1階	544.12 m ²	2階	365.56 m ²
事務室	89.66 m ²	調査研究室	104.10 m ²
標本製作室	46.40 m ²	天体観測室	41.26 m ²
展示製作室	34.97 m ²	図書資料室	83.76 m ²
収蔵庫	144.00 m ²	その他	136.44 m ²
その他	229.09 m ²	屋上	19.32 m ²

渡り廊下（研究管理棟～自然学習棟）	38.36 m ²
-------------------	----------------------

(3) 屋外展示

IDI 過熱テンダー機関車 (D51 408 号機)

昭和 15 年 4 月 12 日、日本車輛製造株式会社で製造され、北陸線・山陽線・山手線などで主に貨物輸送に活躍した。

昭和 45 年 11 月、新鶴見機関区で廃車となり、昭和 46 年 10 月、青少年科学館に生きた教材（愛称：でこちゃん号）として展示されることになった。国鉄大宮工場で解体され、30 t 積みトレーラー3台、8 t 積みトラック 4 台に分けて運搬され、組立の上設置された。

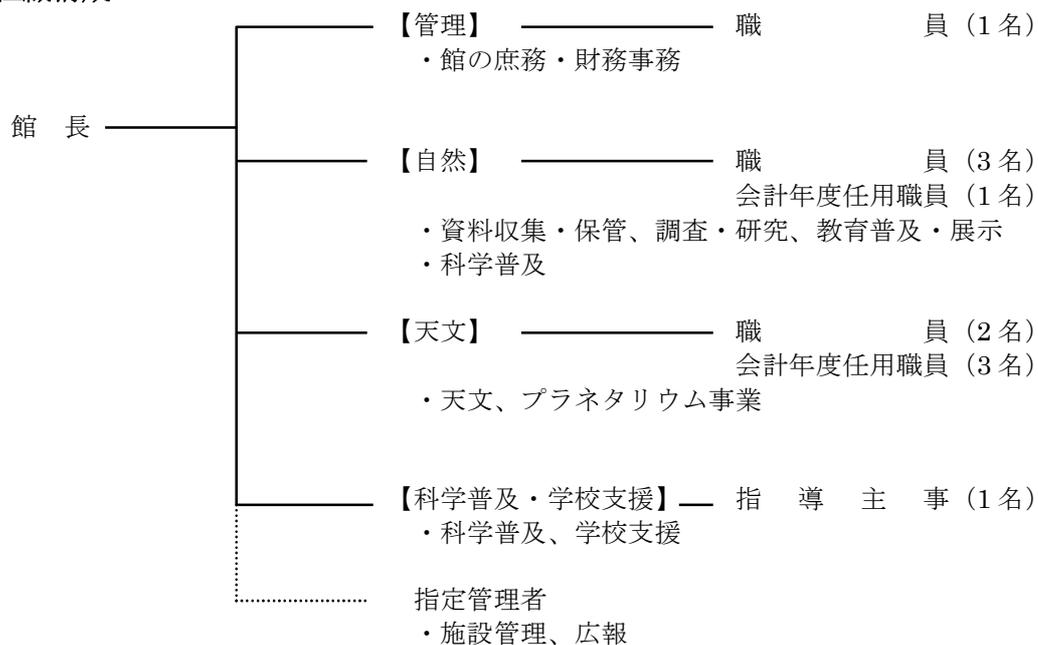
平成 23 年 3 月、アスベスト対策工事实施。



(最大 1,200 馬力、全長 19.5 m、高さ 3.9 m、幅 2.8 m、機関車空車 70 t、炭水車空車 19 t)

3 運営組織及び職員

(1) 組織構成



(2) 職員

(令和5年4月1日現在)

	氏名	職名	担当
館長	久保 慎太郎	館長 (事務職員)	館総括
管理	渡邊 美里	担当係長 (事務職員)	管理、庶務
自然	高中 健一郎 齋藤 紫保 服部 隆博 津田 由美子	担当係長 (技術職員・学芸員) 主任 (事務職員) 主任 (事務職員・再任用短時間) 会計年度任用職員	自然科学班総括
天文	弘田 澄人 内藤 武 田中 里佳 村上 ひろ子 三浦 飛未来	担当係長 (技術職員・学芸員) 任期付職員 (技術職員・学芸員) 会計年度任用職員 会計年度任用職員 会計年度任用職員	天文班総括
科学普及・学校支援	杉浦 孝弘	指導主事	

※指定管理者除く



4 川崎市社会教育委員会 青少年科学館専門部会（旧称：川崎市青少年科学館協議会）

（1）設置根拠

青少年科学館の円滑な運営を図るため設置されている川崎市青少年科学館協議会は、川崎市の全庁的な附属機関の見直しに伴い、平成 28 年度より川崎市社会教育委員会議の「専門部会」に位置付けられた。委員定数は 10 名以内。市内の学校教育職員、社会教育関係者、学識経験者及び公募市民の合計 10 名で構成されており、令和 5 年度は次のとおり協議を行った。

（根拠法令）

- ・川崎市社会教育委員条例第 3 条
- ・川崎市社会教育委員会委員会規則第 6 条

青少年科学館専門部会委員名簿（任期：令和 4 年 5 月 1 日～令和 6 年 4 月 30 日） ◎部会長 ○副部会長

氏名	役職名	氏名	役職名
高橋 泉	中学校教育研究会理科部会 部会長（白鳥中学校 校長）	常喜 豊	昭和女子大学 人間社会科学部 特任教授 （動物生態学）
上野 和美	小学校理科教育研究会 会長（藤崎小学校 校長）	佐藤 武宏※	県立生命の星・地球博物館 学芸部長 （貝類学・甲殻類学・機能形態学）
川島 逸郎	日本トンボ学会 編集委員 （昆虫学）	山岡 均	国立天文台天文情報センター センター長／准教授（天文学）
南條 邦子○	公募市民	眞壁 総子	特定非営利活動法人 ままとんきっず 理事長（家庭教育）
服部 公俊◎	公募市民	栗芝 正臣	専修大学 ネットワーク情報学部 准教授 （デザイン学）

※令和 5 年 5 月 31 日まで 県立生命の星・地球博物館 学芸部長 田中 徳久（植物生態学）

（2）活動内容

開催日	会場	主な内容
令和 5 年 6 月 28 日（水）	自然学習棟学習室	令和 5 年度事業計画
11 月 10 日（金）	自然学習棟学習室	令和 5 年度事業計画中間報告
12 月 1 日（金）～ 23 日（土）	科学館内外	各委員による個別の事業視察
令和 6 年 3 月 14 日（木）	自然学習棟学習室	令和 5 年度事業評価



第2章 令和5年度事業報告

新型コロナウイルス感染症拡大防止としての科学館対応

新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、令和2年度より事業の休止、開催回数・定員の減、徹底した感染防止対策を実施してきた。令和5年度については、令和5年5月8日の5類移行に伴い、プラネタリウムの座席数や講座等の定員、運営方法について、段階的にコロナ禍前に戻しながら開館業務並びに各種事業等の博物館活動を行った。

日にち	館の対応	対応内容
令和2年度 から 継続実施	プラネタリウム定員減の継続（100人）	イベント開催ガイドライン内の定員50%を踏まえ、座席定員を通常200人から100人に変更。土日祝日の投影4回は継続。
	入館者への協力依頼	科学館入口にて検温を行い、手指消毒とマスク着用のお願いの呼びかけを継続実施。
	教育普及イベントの限定開催	3密回避として、会場内の換気徹底、参加者同士の距離確保、密を伴わない定員設定を継続し、サイエンス教室、サイエンスワークショップ等の自然・天文・科学分野の教育普及イベントを開催。
	アストロテラス開放 夜間天体観測会の再開	アストロテラスは平日のみ開放、夜間天体観測会「星を見る夕べ」はこれまでの自由参加方式から事前予約制定員50名に変更して再開。望遠鏡は接触防止キャップを使用。
	「おうちで楽しむ デジタル科学館」HP掲載	臨時休館、外出自粛継続中に家庭で館の魅力に触れてもらえるよう、館HPに自然、天文、科学の各分野の取組を紹介。
令和3年度 から 継続実施	フュージョン投影の再開	定員を70名とし、新番組「過去と未来の旅」から投影を再開。新番組の利用ニーズをふまえ、水曜日、第一木曜、土日祝日にフュージョン投影を設定。
	星空ゆうゆう散歩の継続実施	令和2年度は休止していた「星空ゆうゆう散歩」を、令和3年度から引き続き、定員100名にて実施。
	プラネタリウム学習投影 受入定員の見直し	令和3年度に引き続き、1投影につき1団体限定、上限100名での投影実施を学校側と確認。当日の登校時の検温、入館前の手指消毒等の感染防止対策を学校団体と協力の上で実施。
	生田緑地観察会の再開	新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ、委託先である「特定非営利活動法人かわさき自然調査団」と協議し、令和3年12月から事前申込制にて、定員数を設定して再開し、令和5年度も引き続き実施。
令和4年 10月1日～	展示室「触れる展示」の再開	展示室内に手指消毒用のアルコールを設置し、ハンズオン展示を再開。ハンズオン展示のうち、覗く展示は目元の消毒が困難なことから、休止を継続中。
令和4年 10月7日～	自然学習棟2階の 自然観察テラス	利用者の長時間滞在及び飲食を未然に防ぐため、自然学習棟2階の自然観察テラスの利用を休止していたが、10月7日から利用を再開。
令和5年 3月14日～	入館者への協力依頼の緩和	科学館入口への検温、手指消毒とマスク着用についての来館者への呼びかけを緩和。
令和5年 5月10日～	入館者への協力依頼終了	科学館入口への検温、手指消毒とマスク着用についての来館者への呼びかけを終了。
	プラネタリウム定員の拡大	プラネタリウム一般投影、学習投影等の定員を100名から150名（フュージョンは70名から100名）に拡大。
	展示室「触れる展示」の 全面再開	令和5年5月8日の5類移行に伴い、覗く展示を含むすべてのハンズオン展示を再開。
令和5年 6月3日～	サイエンスワークショップ 受付方法の変更	3密回避として、整理券方式の入替制にて実施していたが、先着順での受付に変更。

令和5年 7月2日～	生田緑地観察会の定員数の拡大	令和5年5月8日の5類移行に伴い、生田緑地観察会の定員数を10～15名から30名に拡大。
令和5年 7月4日～	プラネタリウム定員の拡大	プラネタリウム一般投影、学習投影等の定員を150名から通常の200名(フュージョンは100名から132名)に拡大。
令和5年 7月15日～	「星を見る夕べ」定員の拡大	夜間天体観測会「星を見る夕べ」の定員を50名から100名に拡大。参加者への接触感染予防カバーは任意。

1 利用状況

(15) 青少年科学館		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
入館者数		18,420	23,205	16,196	17,457	20,332	23,153	23,421	25,082	16,153	15,477	17,387	21,957	238,240	
入館者数のうち	プラネタリウム 観覧者数	4,206	5,799	5,614	6,691	7,961	8,346	8,382	7,531	5,668	5,456	5,701	6,823	78,178	
	学習投影	0	939	1,844	557	45	2,029	2,133	2,028	1,476	1,459	1,204	905	14,619	
		一般投影	4,206	4,860	3,770	6,134	7,813	6,053	5,121	5,503	4,044	3,997	4,199	5,777	61,477
	一般投影 観覧者数内訳	一般	2,391	2,783	2,260	3,389	4,301	3,588	3,068	3,259	2,332	2,344	2,324	3,259	35,298
		高校・ 大学生	381	469	417	431	474	500	549	652	421	420	490	517	5,721
		65歳以上	99	219	158	183	222	149	138	177	124	100	179	188	1,936
	中学生 以下	1,335	1,389	935	2,131	2,816	1,816	1,366	1,415	1,167	1,133	1,206	1,813	18,522	
	特別投影	0				103	264	1,128		148		298	141	2,082	
講座等参加者数	361	468	346	742	796	848	1,096	782	692	891	752	710	8,484		
アストロテラス公開時入場者数	496	349	45	68	115	156	540	573	834	416	190	576	4,358		
館外活動参加者数		8	23	379	168	1,138	588	1,582	1,570	1,262	858	813	336	8,725	
利用者数合計		18,428	23,228	16,575	17,625	21,470	23,741	25,003	26,652	17,415	16,335	18,200	22,293	246,965	
開館日数		26	26	26	25	27	26	26	25	24	24	25	26	306	
1日平均利用者数		709	893	638	705	795	913	962	1,066	726	681	728	857	807	

※ プラネタリウム4月11日～14日・8月29日～9月1日休止、7月2日まで定員減

年度別利用者の推移

年度	入館者数	入館者数のうち			館外活動 参加者	利用者総数	(企画展)※
		プラネタリウム	アストロテラス	講座等参加者			
平成24年度	367,238	148,693	51,171	16,197	18,630	385,868	
25年度	301,399	125,739	29,338	12,904	16,296	317,695	
26年度	292,238	115,819	24,659	14,548	17,025	309,263	
27年度	293,333	110,824	21,198	11,474	14,526	307,859	
28年度	283,423	104,187	21,147	11,115	12,486	295,909	
29年度	288,130	106,456	20,179	11,867	13,140	301,270	
30年度	271,761	108,205	16,766	15,115	13,562	285,323	
令和元年度	251,346	95,072	13,903	10,089	10,677	262,023	
令和2年度	178,245	44,923	3,151	3,783	5,109	183,354	
令和3年度	253,177	68,417	5,716	5,129	5,008	258,185	8,547
令和4年度	249,649	66,102	3,279	5,352	7,754	257,403	13,336
令和5年度	238,240	78,178	4,358	8,484	8,725	246,965	7,926

※ 平成24年度リニューアルオープン

※ 令和3年度から、学習室で実施した企画展の観覧者数を掲載

2 収集保存事業

(1) 自然関係収蔵資料の分類・整理（台帳化）

① 収蔵標本（自然史資料）の整理および配架状況

電子台帳への登録について、昆虫標本は2,063点を登録し、そのうち既存資料が2,001点、新規作製標本が62点、植物標本は698点を登録し、すべて新規作製資料である。

② 分類群ごとの標本作製

資料収集として剥製及び標本化を行い、哺乳類12点、鳥類3点、昆虫1110点、植物698点、計1,823点を新規に作製した。

(2) GBIF等国内外機関への自然史資料情報の提供

S-Net（サイエンスミュージアムネット）およびGBIF（地球規模生物多様性情報機構）にて収蔵資料の情報を国内外へ公開するために、(独)国立科学博物館へ標本データ2,250点を提供した。S-Netは、(独)国立科学博物館が運営するウェブサイトであり、全国の自然史系博物館等が所蔵する「自然史標本」の情報等を国内向けにデータ公開している。GBIFは、(独)国立科学博物館を中心に推進している自然史標本データ整備事業であり、生物多様性に関する情報を各国、各機関で収集し、ネットワークを通じて全世界的に相互活用することを目的とする国際協力による科学プロジェクトである。プロバイダごとにデータが集積され、その数はGBIF全体では約26億件（2024年2月時点）に達している。

(3) 収蔵庫研究利用実績

外部研究者による収蔵資料（標本）の研究に伴う収蔵庫利用や見学の内訳は、以下の通りである。

※「特定非営利活動法人かわさき自然調査団」による利用実績は、のべ44件255人である。

利用日	利用者（機関・団体・個人）	利用人数
4月27日（木）	堀内慈恵（神奈川県植物誌調査会）	1
5月1日（月）	堀内慈恵（神奈川県植物誌調査会）	1
5月23日（火）	堀内慈恵（神奈川県植物誌調査会）	1
5月31日（水）	堀内慈恵（神奈川県植物誌調査会）	1
7月20日（木）	堀内慈恵（神奈川県植物誌調査会）	1
8月2日（水）	堀内慈恵（神奈川県植物誌調査会）	1
10月19日（木）	堀内慈恵（神奈川県植物誌調査会）	1
12月27日（水）	堀内慈恵（神奈川県植物誌調査会）	1
1月10日（水）	支倉千賀子（東京農業大学）	1
1月12日（金）	堀内慈恵（神奈川県植物誌調査会）	1
1月16日（火）	堀内慈恵（神奈川県植物誌調査会）	1
3月12日（火）	堀内慈恵（神奈川県植物誌調査会）	1
	合計	12

(4) プラネタリウム番組アーカイブ化

番組制作時に収集した資料と投影番組の素材、プログラム等をアーカイブ化しシステムに保存した。

(5) 太陽表面観測データ整理

アストロテラス太陽望遠鏡による太陽の白色光とH α 光の観測を継続して実施している。そのデータをハードディスクに保存整理した。

(6) 天文資料整理

元東京天文台講師の冨田弘一郎氏から寄贈された天文資料の整理を引き続き実施した。天文古書17点のデジタル化を行った。また、プラネタリウム関連資料を新たに13点登録した。

(7) 所蔵図書および文献資料の整理

交換あるいは寄贈を受けた雑誌や図録などは、発行元の各館または施設ごとに設置した紙箱（ボックス）に逐次収納している。

担当職員 津田由美子 村上ひろ子（受入・記録・仮配架）

(8) 資料燻蒸

令和5年7月9日から7月14日まで、酸化プロピレン・アルゴン混合ガスによる殺虫、殺卵、殺カビを目的とした収蔵庫の燻蒸を行った。これに伴い、7月11日（火）を臨時休館とした。

(9) 科学実験データ共有化

科学実験教室やサイエンスワークショップごとに報告される報告書の管理及び実践事例等の収集を行った。科学ボランティア団体が相互に活用できるよう、科学工作を扱ったサイエンスワークショップ計画書の整理・収集を進め、「令和5年度 実践事例集」を作成した。

(10) 開発実験器具等の保管

玉手箱の管理と保管、利便性の向上のため、科学実験教室で使用する消耗品などの補充について各科学市民団体の定例会にて確認し、使用できる備品・消耗品の整理を実施した。

3 展示事業

(1) 自然

① 常設展示

川崎の自然を1階展示室で「川崎の大地」「丘陵の自然」「街の自然」「多摩川の自然」「生田緑地ギャラリー」と5つのコーナーに分けて紹介した。

「川崎の大地」…生田緑地約100万年の歴史を約5分の1に縮小した8mの「地層タワー」で再現。有孔虫化石の顕微鏡観察。川崎市内で発掘されたアケボノゾウ (*Stegodon aurorae*) の臼歯化石 (市重要天然記念物 (「カントウゾウ (*Parastegodon kwantoensis*)」基準 (ホロタイプ) 標本として・昭和48年3月14日指定) や、飯室層 (上総層群) から産出する代表的な化石の展示。

「丘陵の自然」…川崎の丘陵地で見られるさまざまな動植物を、季節ごとに分類して展示。谷戸に生息する生物についてジオラマで生態を解説しているほか、里山で見られる代表的な生物を、柱状展示等で見せている。壁面には、里山の「生態系」をイメージした展示。

「街の自然」…川崎で暮らしているハクビシンやアライグマの剥製標本展示のほか、都会に適応した生物の代表として、ハシブトガラスやセイヨウタンポポなどを生態展示で見せている。都会で見られるセミ類や鳥類などは、音声を活用した展示を行っている。

「多摩川の自然」…多摩川138kmの始まりから終わりまでを、立体地図と断面図で展示。多摩川の上流から下流、河口までの生き物 (水生生物や鳥類など) や石の状態、河口干潟などを展示。

「生田緑地ギャラリー」…生田緑地に生息する生き物たちを、標本や写真・レプリカで紹介。引出し展示を多用し、生物から地層の剥ぎ取りに至るまで、幅広く実物 (標本) を展示している。



② リアルタイムな情報発信

生田緑地の自然について、日常的に観察・撮影した写真等のリアルタイムな情報発信 (受付横「緑地案内ボード (緑地マップ)」を活用) を定期的 to 実施し、2週に1回の頻度で更新した。また、SNSを活用し、自然情報や展示紹介など48回更新した。

③ 新たな自然史資料による常設展示の更新

生田緑地の動植物を季節ごとに展示する「生田緑地の四季だより」の写真をキャプションとともに4回更新し、計32点を展示した。また、自然分野サイエンスワークショップの題材等をピックアップコーナーにて実物資料とともに展示し、適宜更新した。



(2) 天文

① プラネタリウム一般投影

市民への天文知識普及を目的とし、定期的に新番組制作の上、その時季に見られる天文現象なども交えながら、解説員のマニュアル操作・生解説によるきめ細かい投影を行った。

新型コロナウイルス感染症対策として定員を削減して投影していたが、5月10日からは定員を150名（フュージョンは100名）、7月4日からは通常の定員200名（フュージョンは132名）に拡大した。

一般向け投影（平日 15:00～、土日祝日 12:00～、15:00～）

	投影話題	内容
4月	電波で見る宇宙 野辺山からアルマへ	ALMAの観測成果など、電波の目で星や惑星が誕生する現場を見る
5月	月探査最前線	再び人類が月を目指すアルテミス計画など、これからの月探査について
6月	梅雨も星空を	雨が多い時季ならではの天文現象や星空の楽しみ方
7月	地底から宇宙を見る	宇宙の謎に迫るニュートリノ天文学や重力波の観測について
8月	世界の海辺から ～南半球の星空～	船に揺られて南半球へとでかけ、南天の星座や天体を紹介
9月	宇宙に生命を探す	ドレイクの宇宙文明方程式を手掛かりに地球外生命存在の可能性を考える
10月	プラネタリウム 100周年記念 もう一度見たいあの番組	企画展での人気投票結果から話題を選定。夜空の星時計、運動会、芭蕉が見た星など
11月	氷惑星の世界	太陽から遠い天王星、海王星の特長と他の惑星との違いについて
12月	太陽系のタイムカプセル	探査機はやぶさ2の成果と小惑星の特長、太陽系の起源と進化について
1月	日本の星をたずねて	日本独自に伝わる星の名前を紹介し、西洋や中国の星座との違いにも触れる
2月	望遠鏡 ー宇宙を知る道具ー	望遠鏡の発明と進歩による天文学の発達。ジェイムズウェブ宇宙望遠鏡の成果について
3月	宇宙の広がり	夜空がなぜ暗いのかというオルバースのパラドックスを手掛かりに宇宙の構造を探る

フュージョン投影「過去と未来への旅」

（土日祝日 10:30、水曜日・第1木曜日 13:30 一般投影にて投影）

子ども向け投影（土日祝日 13:30）

	投影話題
～4月23日	おたんじょうびの星座たち
4月29日～6月	ドーナツ星雲をつくろう！？
7月～8月	南半球へ行こう！／夏の星空さんぽ
9月～10月	なぞの天体ブラックホール
11月～12月	流れ星みつけた！
1月～2月	ももんがさんとおほしさまじゅーす
3月	おたんじょうびの星座たち



② プラネタリウム一般団体貸切利用「星空自由空間」

世界最高水準のプラネタリウム機「メガスターⅢフュージョン」の更なる活用を図り、プラネタリウムの魅力を発信するため、プラネタリウムを団体で貸切り、投影を楽しむことができる「星空自由空間」を実施した。

リクエストに応じた投影、全天周プロジェクターによる持込み映像上映等のほか、障がい者、福祉施設などで他の来館者に気兼ねなく利用してもらうなど、幅広い活用を想定している。

引き続き関係方面への周知を行い、利用を増やし検証を行う。

■利用方法等	
対象団体	原則として20人以上の団体（例：福祉施設、企業、生涯学習団体等）
利用日時	平日（火～金）の10:00～14:30 （ただし、学習投影実施時間帯、休館日等を除く。）
予約方法	利用希望日の3か月前から1か月前まで電話又は来館にて受付
投影内容	利用団体の希望、リクエストに基づき、事前に当館と打合せ・調整
利用料 （観覧料）	45分間毎に1人600円、中学生以下無料 例：10:00～11:20（80分利用）の場合 ⇒ 一般1,200円/人 別途、障がい者、高齢者等の利用については利用料を減免
利用事例	3月22日（金）13:00～13:45 担当：三浦 団体名 たんぽぽ会 参加者 47人 内容 子育てサークルの利用。乳幼児向けの投影を実施した。

③ 星空ゆうゆう散歩

元科学館職員の國司眞氏を講師に迎えたシニア向け投影を下記の通り実施した。

対象 中学生以上観覧可能（8月を除く毎月第3木曜日 13:30～ 定員：200名）

講師 國司眞氏

開催日	投影話題	内容	参加人数
4月20日（木）	ハレー彗星は今どこに？	みずがめ座流星群と母天体の関係。前回と今回のハレー彗星の見え方	100
5月18日（木）	ブラックホール 見つけた	ブラックホール発見史とM87銀河中心のブラックホール、銀河系中心のブラックホールについて	125
6月15日（木）	いちばんぼし 金星	6月4日東方最大離角、7月7日最大光度となる金星について	116
7月13日（木）	七夕の頃の星空	今年の旧暦七夕は8月22日。夏休み中に見られる星空や天文現象	97
9月21日（木）	月の満ち欠けと中秋	月の満ち欠けと旧暦の関係、お月見の風俗	134
10月19日（木）	遙かなるアンドロメダ銀河	系外銀河発見の歴史と近傍の銀河群	142
11月16日（木）	流星群と母天体	しし座流星銀とふたご座流星群の見え方と母天体の特徴	141
12月21日（木）	冬至とクリスマス	冬至の頃の星空、クリスマスの日付の考察	107
1月18日（木）	2024年の星空散歩	2024年に起こる主な天文現象	125
2月15日（木）	冬から春の1等星めぐり	冬から春に見られる1等星の特徴や名前の由来、近年の観測成果	129
3月14日（木）	おおぐま座と北斗七星	おおぐま座についての解説と世界各地の北斗七星の名称	114
合計			1,330

5月	23日(火)	調布市立神代保育園	
	24日(水)	調布市立富士見保育園	
		川崎めぐみ幼稚園	
	25日(木)	仙川教会子どもの家	
		宮崎台幼稚園	
	26日(金)	宿河原幼稚園	
		宮崎台幼稚園	
30日(火)	川崎市立片平小学校	4	
	丸山幼稚園		
	川崎市立片平小学校	4	
31日(水)	こどもの丘保育園		
	健爽学園ゆりかご幼稚園		
6月	2日(金)	川崎市立梶ヶ谷小学校	4
		有馬白百合幼稚園	
		川崎市立梶ヶ谷小学校	4
	6日(火)	南いくた保育園	
		たちばな幼稚園	
		川崎市立川中島小学校	6
	7日(水)	白鳥保育園	
		健爽学園ゆりかご幼稚園	
	8日(木)	神奈川県立高津支援学校	1
		たちばな幼稚園	
		グリーンフォレスト神木保育園	
	13日(火)	川崎市立中央支援学校 稲田分教室	
		川崎たまがわ幼稚園	
	14日(水)	川崎市立中央支援学校 稲田分教室	
		富士見幼稚園	
	20日(火)	川崎市立菅小学校	4
		学校法人田園学園川崎たまがわ幼稚園	
		町田市立町田第一小学校	4
	22日(木)	野川ほのぼの保育園	
		西三田幼稚園	
23日(金)	河合塾学園ドルトンスクール東京(幼稚園)		
	宮崎二葉幼稚園		
27日(火)	洗足学園大学附属幼稚園		
	至誠館ゆりがおか保育園		
	潮見台みどり幼稚園		
	武蔵小杉おおぞら保育園		
28日(水)	登戸ゆりのき保育園		
	川崎若葉幼稚園		
29日(木)	町田市立金井小学校特別支援級		
	桐光学園みどり幼稚園		
	川崎市立戸手小学校	4	
30日(金)	川崎市立東高津小学校	4	
	川崎青葉幼稚園		
	川崎市立東高津小学校	4	
7月	4日(火)	川崎市立末長小学校	4
		川崎青葉幼稚園	
		川崎市立末長小学校	4
	5日(水)	川崎市立旭町小学校	4
		津田山幼稚園	
12日(水)	スリースターズインターナショナルスクール(保育園)		
	川崎市立旭町小学校	4	
8月	22日(火)	キンダーキッズインターナショナルスクールたまプラーザ	
		保育園フェリチッタ	

8月	23日(水)	東京工芸大学工学部	
	25日(金)	町田市立第三中学校理科部	
9月	5日(火)	川崎市立中野島小学校	4
		狛江みずほ保育園	
		川崎市立西野川小学校	4
	12日(火)	川崎市立西有馬小学校	4
		ひばり幼稚園	
		ナーサリールームベリーベア一宮崎台	
		川崎市立西有馬小学校	4
	13日(水)	川崎市立玉川小学校	4
		川崎市立玉川小学校	4
	14日(木)	川崎市立南原小学校	4
		川崎市立柿生小学校	4
		川崎市立柿生小学校	4
	22日(金)	川崎市立大戸小学校	4
		川崎市立大戸小学校	4
		川崎市立下河原小学校	4
	26日(火)	川崎市立高津小学校	4
		川崎市立高津小学校	4
		川崎市立坂戸小学校	4
	27日(水)	川崎市立有馬小学校	4
		川崎市立南生田小学校	4
28日(木)	川崎市立宮前小学校	4	
	ちびっこハウス多摩川園		
	スカイクレストインターナショナルスクール(保育園)		
	川崎市立東住吉小学校	4	
29日(金)	川崎市立宮崎台小学校	4	
	川崎市立宮崎台小学校	4	
10月	3日(火)	狛江市立狛江第五小学校	4
		川崎市立東生田小学校	6
		川崎市立浅田小学校	4
	4日(水)	川崎市立登戸小学校	4
	6日(金)	小学館アカデミー西いくた保育園	
		にじいろ保育園登戸	
		アスク向ヶ丘遊園南保育園	
		森村学園初等部	3
	12日(木)	川崎市立下作延小学校	4
		目黒日本大学幼稚園	
		川崎市立生田小学校	4
	17日(火)	川崎市立川中島小学校	4
		白山幼稚園	
川崎市立川中島小学校		4	
24日(火)	川崎市立犬蔵小学校	4	
	川崎市立犬蔵小学校	4	
	横浜市立大門小学校	3	
25日(水)	らいらっく保育園		
	菅生保育園		
	ういず向ヶ丘遊園保育園		
	津田山幼稚園		
	中学校連合文化祭		
26日(木)	川崎市立橋小学校	4	
	川崎市立古市場小学校	4	
	川崎市立橋小学校	4	
27日(金)	川崎市立三田小学校	4	
	太陽第一幼稚園		

10月		小学館アカデミーたまプラーザ保育園	
		若草保育園京町	
		川崎市立新作小学校	6
31日(火)		川崎市立宮前平小学校	4
		川崎市立宮前平小学校	4
11月	1日(水)	西有馬おひさま保育園	
		西高津くさはな保育園	
		セントメリーズインターナショナルスクール	
7日(火)		川崎市立宮崎小学校	4
		川崎市立宮崎小学校	4
		川崎市立宮崎小学校	4
8日(水)		宿河原幼稚園	
		もみの木保育園若葉台	
		つるかわ保育園	
9日(木)		川崎市立御幸小学校	4
		第2くまのこ園	
		梶ヶ谷幼稚園	
		川崎市立御幸小学校	4
14(火)		川崎市立はるひ野小学校	6
		総合教育センター教育相談センターゆうゆう広場	
		川崎市立はるひ野小学校	6
21日(火)		川崎市立東菅小学校	4
		初山幼稚園	
		いずみ保育園	
		川崎市立新城小学校	6
22日(水)		そらまめ保育園	
		勝田保育園	
		桐光学園小学校	6
28日(火)		川崎市立生田中学校支援級	
		サクラノ幼稚園	
		大田区立仲六郷小学校	4
29日(水)		川崎市立向丘小学校	4
		横浜市立さつきが丘小学校	3
30日(木)		川崎市立岡上小学校	4
		サクラノ幼稚園	
		太陽の子保育園	
		狛江市立狛江第五小学校	3
12月	1日(金)	川崎市立宿河原小学校	4
		川崎市立稲田小学校	4
		洗足学園小学校	3
5日(火)		川崎市立麻生小学校	4
		川崎市立西菅小学校	4
6日(水)		川崎市立白幡台小学校	4
		天才キッズクラブ登戸園	
12日(火)		まなびの森保育園 梶ヶ谷	
		川崎市立西生田中学校特別支援級	
13日(水)		桐光学園小学校	4
14日(木)		聖徳学園小学校	5
		梶ヶ谷幼稚園	
		キッズ大陸フロンタウン生田園	
		横浜市立山内小学校	3
15日(金)		東京学芸大学附属高等学校	1
		東京学芸大学附属高等学校	1
19日(火)		川崎市立小倉小学校	4
		川崎市立小倉小学校	4

12月		川崎市立田島小学校	4
1月	11日(木)	川崎市立平小学校	4
		川崎市立土橋小学校	4
		川崎市立東生田小学校	4
	16日(火)	川崎市立南生田小学校	6
		こうりんじ幼稚園	
		川崎市立南生田小学校	6
	23日(火)	川崎市立稗原小学校	4
		ちよがおか幼稚園	
		綾瀬市教育支援教室	
	25日(木)	川崎市立南野川小学校	4
		つぼみ幼稚園	
		ローラスインターナショナルスクールオブサイエンス武蔵新城校	
		横浜市立新羽小学校	3
	26日(金)	川崎市立井田小学校	4
		川崎市立藤崎小学校	6
	30日(火)	横浜市立今宿南小学校	3
横浜市立今宿南小学校		3	
杉並区立久我山小学校		5	
31日(水)	神奈川県立高津支援学校	1	
	横浜市立嶮山小学校	3	
2月	2日(金)	川崎市立上丸子小学校	4
		川崎市立藤崎小学校	4
	6日(火)	大西学園小学校	4
	7日(水)	神奈川県立中原支援学校住吉分教室	
	8日(木)	柿の実幼稚園	
	20日(火)	川崎市立玉川小学校	6
		川崎市立平小学校	6
	22日(木)	駿河大学第一幼稚園	
		ゆいまある保育園東有馬	
		横浜市立黒須田小学校	3
	27日(火)	レッツ・びー梶ヶ谷保育園	
		若竹幼稚園	
		川崎市立久本小学校	6
29日(木)	川崎市立下沼部小学校	4	
	神奈川県立麻生支援学校	4	
	川崎市立下沼部小学校	4	
3月	1日(金)	川崎市立平中学校	3
		狛江ちとせ保育園	
		i Kids Star 新百合ヶ丘	
		川崎市立さくら小学校	5
	5日(火)	成城学園初等学校	1
		しらかし保育園	
		柿の実幼稚園	
	6日(水)	社会福祉法人ちとせ交友会 深大寺東町ちとせ保育園	
		西しゅくマーノ保育園	
		向丘はなみずき保育園	
	12日(火)	川崎市立新町小学校	3
	13日(水)	小桜愛児園	
		アスク向ヶ丘遊園北保育園	
ローラスインターナショナルスクールオブサイエンス武蔵小杉			
ポピンズナーサリースクール武蔵小杉			
19日(火)	グローバルキッズ狛江園		
	にじいろ保育園武蔵新城		
22日(金)	木月保育園		

3月	小学館アカデミーしんかわさき保育園	
	ももの里保育園	
	上小田中保育園	
利用団体数：230 団体、利用者数：14,724 人 内訳：市立小学校 87・中学校 2、その他の小学校 20・中学校 1 高等学校 2、特別支援学校 11、幼・保育園 105、その他 2		

⑥ 天文関連展示

常設展示

壁面を利用して、太陽系の天体から銀河系、宇宙の構造等、宇宙の基礎的な内容について展示している。

特別展示

自然学習棟 1 階・プラネタリウムドーム入口横壁面を使用したパネル展や、2 階天文展示スペースに展示ケースを設置した展示を実施した。(観覧自由)



期間	内容
10月3日～10月29日	オーロラ写真展

天文情報コーナー

自然学習棟 2 階のホワイトボードにおいて、毎月月の満ち欠けや、川崎市内で観察できる天文現象についての情報を紹介するコラムを掲載し、1 か月に一度のペースで更新した。

企画展示「誕生 100 年 プラネタリウムの舞台裏」

プラネタリウム誕生 100 年を記念し、プラネタリウムの歴史を物語る資料の他、テーマの選定から始まり、正確に分かりやすく伝えるためのプラネタリウム番組制作の舞台裏などを実物と写真パネル等で紹介する企画展示を行った。

期 間：7 月 22 日（土）～8 月 20 日（日）

延べ観覧者数：7,926 人

会 場：学習室 1、プラネタリウムドーム入口横壁面

観覧料：無料



出張企画展示「出張！かわさき宙と緑の科学館！！誕生 100 年 プラネタリウムの舞台裏」

東海道川崎宿起立 400 年とプラネタリウム誕生 100 年を記念し、川崎区にある東海道かわさき宿交流館で夏に開催した企画展示をベースとした展示を行った。

期 間：2 月 3 日（土）～3 月 10 日（日）

会 場：東海道かわさき宿交流館（川崎市川崎区）

3 階 企画展示スペース

観覧料：無料



出張！プラネタリウム投影会

東海道かわさき宿交流館での出張企画展示の開催に合わせて、持ち運べるプラネタリウム「メガスタークラス」を使用して、当日の星空と川崎宿が栄えた時代の天文の話題（江戸の天文学）等について解説した。

開催日：2 月 23 日（金・祝）

会 場：東海道かわさき宿交流館（川崎市川崎区）4 階 第 1 集会室

観覧料：無料

担当職員：内藤 武 田中里佳

投影時間（各回約 30 分）	観覧者数
13:30～14:00	25
14:30～15:00	11
15:30～16:00	14
計 3 回投影	50

(3) 科学

① 常設展示

令和2年6月から科学分野の展示として、サイエンスワークショップや科学実験教室での工作物、活動する市民科学団体を紹介する常設展示コーナーを設置した。多摩区と連携した工作物の動く様子(動画)を来館者がスマートフォン等で視聴できるARコンテンツ(拡張現実)を引き続き活用した。また、6月からデジタルサイネージを設置し、科学工作の動きや作り方を紹介する動画を公開した。



2連結ブンブンゴマ

科学工作展示コーナーのデジタルサイネージ



4 調査研究事業

(1) 学芸員・職員等による調査研究

① 川崎市域の生物調査

市域の生物調査では、特定非営利活動法人かわさき自然調査団への委託事業として、生田緑地を中心に川崎市域に生息する動植物種の確認調査を実施し、これまでの採集状況を踏まえながら採集が可能な動植物については採集し、それらに適した方法により標本を作製した。また継続的なモニタリングが可能な分類群については、モニタリング調査を継続し、調査結果を報告書にまとめた。

② ムネアカハラビロカマキリ調査

生田緑地の外来生物調査として、捕獲によるムネアカハラビロカマキリの個体数抑制の可能性について検証するため、ムネアカハラビロカマキリとハラビロカマキリの生息状況を継続調査し、調査結果をまとめ、紀要第34号で公表した。

③ 川崎市域の星の見え方調査

夏季と冬季に写真撮影による星の見え方調査として、NPO法人星空公団の協力により、撮影データから夜空の明るさを測定する星空診断を行った。また、より多くの市民が関心を持ち、参加できるように夏季には肉眼による観察を行い38件のデータが集まった。職員と天文サポーターによる観測の他、インターネットを通じた市民参加により、市内複数箇所におけるデータ収集を実施した。

④ 天体の観測

太陽の観測を継続して行い、黒点群の集計等、データを蓄積した。また、惑星等の観測を行った。

⑤ 気象観測

自然学習棟の玄関横に設置した気象観測装置を全年運用し、気温、気圧、風向、風力、降水量を連続観測した。気象情報は視覚化し展示室にリアルタイムで掲示し、観測データを保存するとともに、「青少年科学館紀要34号」に掲載した。

⑥ ワクワドキドキ玉手箱の改良・新規開発

ワクワクドキドキ玉手箱のテーマ「No.6 飛ぶもの」の中から、体験を通じて種子の構造や多様性を学ぶキットに収納する生田緑地及び市域のタネを採取した。科学館の学習支援として実施している地層解説を元に、学校現場での授業活用をねらい、かわさきGIGAスクール構想で活用されている端末に対応したデジタル教材となる原稿や資料を作成した。

(2) 外部研究者の受入

堀内慈恵（神奈川県植物誌調査会）

当館収蔵川崎市産植物標本の調査研究（2023年4月27日、5月1日、5月23日、5月31日、7月20日、8月2日、10月19日、12月27日、2024年1月12日、1月16日、3月12日）

支倉千賀子（東京農業大学）

当館収蔵川崎市産植物標本の調査研究及び撮影（2024年1月10日）

(3) 生田緑地産ホトケドジョウ人工飼育・増殖

全国的にも激減し、神奈川県 RDB 2006 においても絶滅危惧 1B 類に指定されているホトケドジョウの、生田緑地産個体群の系統（遺伝子）保存のため、神奈川県水産技術センター内水面試験場（相模原市）に、人工飼育・増殖を委託し実施した。

(4) 市域の生物調査および自然史資料（標本）収集・作製

市域の自然環境調査、主として生田緑地の動植物の生息状況把握のための実態調査を行うとともに、自然史資料の収集および標本化を行った。

担当職員 高中健一郎 齋藤紫保

委託先 特定非営利活動法人かわさき自然調査団

5 教育普及事業

おうちで楽しむデジタル科学館

子どもから大人まで利用者が家庭で楽しめるように、館ホームページに「おうちで楽しむデジタル科学館」を新型コロナウイルス感染拡大防止により不要不急の外出自粛が求められた状況下の令和 2 年度から開設した。デジタルコンテンツによる市民利用の向上をねらい、WEB 上で自然・天文・科学分野の情報を発信した。

① おうちでまなぼう！生き物と自然（自然）

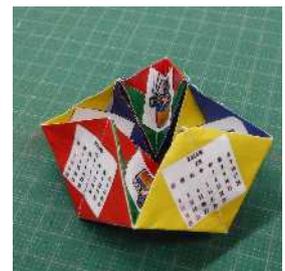
生田緑地に生息する生き物の標本写真を活用し、自宅で動物の体のつくりを学ぶコンテンツを引き続き公開した。

② おうちでプラネタリウム（天文）

プラネタリウムの星空を撮影し、天文担当職員による解説を加えて 10 分程度の動画を作成した。「お月見」などの動画を制作し、新たに公開した。

③ おうちでワークショップ（科学）

科学館 1 階科学工作物展示コーナーを紹介し、動画の一部をホームページで視聴できるように公開した。また、当館で活動する科学市民団体との協働で、家庭で取り組める工作物として「カライドサイクル・カレンダー2024」の材料データ（PDF）と作り方資料をホームページからダウンロードできるように公開した。



(1) 自然

① 生田緑地観察会

生田緑地を会場に、種子植物、シダ植物、野鳥、昆虫、地層などをテーマに、現地で見られた動植物や自然環境について講師が解説することで、参加者の興味関心を持つきっかけとなる観察会を実施した。

場 所 生田緑地
 定 員 15～30名
 講 師 特定非営利活動法人かわさき自然調査団

担当職員 高中健一郎 服部隆博 (定員 15～30名 事前申込 参加費無料)

開催日	観察内容	講師 (ガイド)	参加人数
4月2日(日)	植物	かわさき自然調査団 植物班	8
4月30日(日)	昆虫	かわさき自然調査団 昆虫班	雨天中止
5月7日(日)	植物	かわさき自然調査団 植物班	雨天中止
5月14日(日)	里山の自然	かわさき自然調査団 水田ビオトープ班	7
5月28日(日)	地層	かわさき自然調査団 地学班	8
6月4日(日)	植物	かわさき自然調査団 植物班	9
6月18日(日)	シダ	かわさき自然調査団 シダ植物班	1
6月25日(日)	昆虫	かわさき自然調査団 昆虫班	12
7月2日(日)	植物	かわさき自然調査団 植物班	11
7月30日(日)	地層	かわさき自然調査団 地学班	熱中症中止
9月3日(日)	植物	かわさき自然調査団 植物班	10
9月10日(日)	地層	かわさき自然調査団 地学班	16
9月17日(日)	昆虫	かわさき自然調査団 昆虫班	熱中症中止
9月24日(日)	シダ	かわさき自然調査団 シダ植物班	5
10月1日(日)	植物	かわさき自然調査団 植物班	17
10月15日(日)	里山の自然	かわさき自然調査団 水田ビオトープ班	雨天中止
11月5日(日)	植物	かわさき自然調査団 植物班	13
11月26日(日)	地層	かわさき自然調査団 地学班	21
12月3日(日)	植物	かわさき自然調査団 植物班	13
12月17日(日)	昆虫	かわさき自然調査団 昆虫班	25
1月21日(日)	野鳥	かわさき自然調査団 野鳥班	雨天中止
1月28日(日)	地層	かわさき自然調査団 地学班	20
2月18日(日)	野鳥	かわさき自然調査団 野鳥班	27
3月3日(日)	植物	かわさき自然調査団 植物班	15
3月17日(日)	野鳥	かわさき自然調査団 野鳥班	27
3月24日(日)	地層	かわさき自然調査団 地学班	18
計 20 回実施			283



② サイエンス教室（自然）

来館者を対象に、動植物や自然環境に対する興味関心を深められるよう、座学と現地での観察、博物館資料を活用した内容等を実施する教室を開催した。

担当職員 高中健一郎 齋藤紫保 内藤 武 服部隆博 津田由美子

(定員 16 名、親子参加型は 10～12 組、事前申込 参加費 100 円)

開催日	内容	講師	対象	参加人数
6月11日（日）	チリメンモンスターをさがせ！	津田由美子	小学生4～6年生	11
9月10日（日）	連続講座全3回 多摩丘陵ってどんなところ？～地学を中心に～	高橋 裕氏 (NPO法人教育活動総合サポートセンター)	小学生4～6年生と その保護者	6
10月8日（日）		野口昭三氏 (森を歩く会)		8
11月12日（日）		内藤 武		10
11月19日（日）	地球温暖化をさぐる	服部隆博	小学生4～6年生と その保護者	18
2月11日（日・祝）	バックヤードツアー	高中健一郎	小学生1～6年生と その保護者	8
3月20日（水・祝）	植物の名前を調べてみよう	齋藤紫保	小学生4～6年生と その保護者	12
計7回実施				73



③ 自然サポーター研修会

自然や動植物に関心のある市民を対象に、川崎市域で自然調査や観察会を行う自然サポーター候補を募集し、養成する研修会を開催した。「市域の生物調査」、「生田緑地観察会」等で調査活動、来館者への解説等を行うボランティアを育成するため、自然調査や観察会に関する講義及び受講生が現地での指導方法を学ぶ場を設け、研修を実施した。

対 象： 18 歳以上（高校生を除く）

受 講 生： 10 名（うち修了生 9 名）

講 師： 特定非営利活動法人かわさき自然調査団 館職員

担当職員： 高中健一郎

(定員 12 名 事前申込 参加費 400 円)

開催日	内容	参加人数
9月10日（日）	講義「生物多様性の重要性」 講義「市民協働での調査研究」 収蔵庫見学	9
9月17日（日）	生田緑地での昆虫観察 昆虫の調べ方 昆虫標本の作り方	8
9月24日（日）	生田緑地でのシダ植物観察 シダ植物の調べ方 シダ植物標本の作り方	8
10月1日（日）	生田緑地での種子植物観察 種子植物の調べ方 種子植物標本の作り方 修了式	9
計4回実施		34

④ 地層観察

生田緑地に見られる「飯室層（泥岩層）」、「おし沼砂れき層」、「多摩ローム層」、「立川ローム層」および「飯室層・おし沼砂れき層間の不整合」といった露頭の観察をとおして、地層の成り立ちについて学習するプログラムを、主に小学6年生の理科授業の一環として行った。

また、教員の観察コースの事前下見・相談に対応するとともに、生田緑地に来て直接観察することが困難な学校向けに、地層の写真や子どもたちが触って体験できる地層サンプルをまとめた学習キットの貸出しを行い、市内学校5校の利用があった。

担当職員 高中健一郎 杉浦孝弘 齋藤紫保 服部隆博 津田由美子

開催日	団体名	参加人数
6月6日(火)	川崎市立川中島小学校	108
6月16日(金)	狛江市立狛江第二中学校	117
8月25日(金)	町田市立町田第三中学校理科部	12
9月22日(金)	川崎市立百合丘小学校	142
9月26日(火)	川崎市立生田小学校	80
9月29日(金)	川崎市立住吉小学校	76
10月3日(火)	川崎市立宿河原小学校	74
10月3日(火)	川崎市立東生田小学校	105
10月6日(金)	川崎市立宿河原小学校	77
10月13日(金)	川崎市立東柿生小学校	73
10月17日(火)	川崎市立麻生小学校	122
10月20日(金)	藤沢市立湘南台小学校	133
10月24日(火)	川崎市立白幡台小学校	44
10月27日(金)	川崎市立新作小学校	71
10月31日(火)	川崎市立宮内小学校	130
10月31日(火)	川崎市立梶ヶ谷小学校	155
11月7日(火)	カリタス女子中学校	102
11月7日(火)	カリタス女子中学校	101
11月14日(火)	川崎市立はるひ野小学校	107
11月14日(火)	川崎市立はるひ野小学校	69
11月14日(火)	川崎市総合教育センター教育相談センターゆうゆう広場	82
11月17日(金)	川崎市立向丘小学校	108
11月21日(火)	川崎市立新城小学校	117
11月21日(火)	川崎市立西菅小学校	41
11月28日(火)	川崎市立犬蔵小学校	149
11月28日(火)	川崎市立犬蔵小学校	76
12月1日(金)	川崎市立殿町小学校	65
12月5日(火)	川崎市立西梶ヶ谷小学校	83
12月8日(金)	川崎市立東菅小学校	103
12月8日(金)	川崎市立末長小学校	39
12月8日(金)	川崎市立末長小学校	158
12月12日(火)	川崎市立菅小学校	137
1月16日(火)	川崎市立南生田小学校	97
1月16日(火)	川崎市立南生田小学校	66
1月19日(金)	川崎市立片平小学校	47
1月19日(金)	川崎市立片平小学校	48
2月9日(金)	桐光学園小学校	66
2月20日(火)	川崎市立平小学校	85
2月20日(火)	川崎市立玉川小学校	88
2月27日(火)	川崎市立久本小学校	125
2月27日(火)	川崎市立王禅寺中央小学校	89
3月5日(火)	川崎市立三田小学校	87
合計	計42回実施 利用校数36校	3,854

他にも教育委員会、大学などの要請により、生田緑地において見られる地層の解説を行った。

開催日	大学名	参加人数
7月21日(金)	大田区教育委員会(小中学生団体利用)	23
9月24日(日)	専修大学ネットワーク情報学部ネットワーク情報学科	34
2月2日(金)	大妻女子大学	60
計3回実施		117

⑤ 林の観察

生田緑地の樹林における季節ごとの動植物の観察を、理科の学習の一環として行った。

担当職員 高中健一郎 杉浦孝弘 齋藤紫保 服部隆博 津田由美子

開催日	学校名	参加人数
1月30日(火)	横浜市立今宿南小学校(3年)	37
2月2日(金)	川崎市立上丸子小学校(4年)	143
合計	計2回実施	180



⑥ 総合的な学習の時間における学習支援

生田緑地の自然等をテーマに、生活科・総合的な学習の時間として課題解決学習の支援を行った。

担当職員 高中健一郎 杉浦孝弘 齋藤紫保 服部隆博 津田由美子

開催日	学校名	参加人数
10月25日(水)	川崎市立東生田小学校(3年)	41
11月15日(水)	川崎市立向丘小学校(2年・生活科)	116
合計	計2回実施	157

(2) 天文

① 星を見る夕べ

星を身近に感じ親しむことを目的として、夜間の天体観望会を月2回程度開催した。

はじめに約30分間、プラネタリウムで星座の位置や探し方を紹介した後、アストロテラスで天体望遠鏡を使った月・惑星・星雲・星団・二重星の観望を行った。

望遠鏡での観察時は接触感染予防のため、見口の洗浄を行い、希望する参加者には保護用具を使っていた。

また、開催時に雨、曇天等で観察ができない場合は、プラネタリウムでの解説に加え、プラネタリウム内で双眼鏡を使った観察体験を実施した。

担当職員 弘田澄人 内藤武 田中里佳 村上ひろ子 三浦飛未来

開催日	観望天体	参加人数
4月8日(土)	天候不良のためプラネタリウムでの解説と観察	33
4月22日(土)	M44、かに座ι(二重星)	40
5月13日(土)	天候不良のためプラネタリウムでの解説と観察	35
5月20日(土)	うしかい座α(アルクトゥールス)、おとめ座α(スピカ)	38
6月10日(土)	天候不良のためプラネタリウムでの解説と観察	36
6月24日(土)	おおぐま座ζ(ミザール)、月	40
7月15日(土)	こと座α(ベガ)、りょうけん座α(コルカロリ)	68
7月29日(土)	月、こと座ε(ダブルダブルスター)	77
8月5日(土)	はくちょう座β(アルビレオ)、こと座ε(ダブルダブルスター)	72
8月12日(土)	はくちょう座β(アルビレオ)、こと座ε(ダブルダブルスター)	80
8月19日(土)	こと座α(ベガ)、こと座ε(ダブルダブルスター)	80
8月26日(土)	月、はくちょう座β(アルビレオ)	90
9月9日(土)	こと座α(ベガ)、ケフェウス座μ(ガーネットスター)	71
9月16日(土)	こと座α(ベガ)	68
10月7日(土)	こと座ε(ダブルダブルスター)	79
10月14日(土)	天候不良のためプラネタリウムでの解説と観察	78
11月11日(土)	天候不良のためプラネタリウムでの解説と観察	64

11月25日(土)	月、土星	75
12月9日(土)	木星、アンドロメダ座 γ (アルマク)	82
12月23日(土)	月、木星	72
1月13日(土)	天候不良のためプラネタリウムでの解説と観察	48
1月27日(土)	木星、オリオン座 α (ベテルギウス)	83
2月3日(土)	天候不良のためプラネタリウムでの解説と観察	69
2月17日(土)	天候不良のためプラネタリウムでの解説と観察	71
3月9日(土)	ふたご座 α (カストル)、おおいぬ座145番星	64
3月23日(土)	おおいぬ座 α (シリウス)、M45(すばる)	63
計 28 回実施 合計		1,676

② 出前教室(かわさき星空ウォッチング)

学校や地域団体等の依頼により、移動天文車(アストロカー)等で科学館の望遠鏡や双眼鏡を会場に運び、楽しみながら夜空の星座や月・惑星などを観察する機会を提供した。(事前申込 無料)

担当職員 弘田澄人 杉浦孝弘 内藤武 田中里佳 村上ひろ子 三浦飛未来

開催日	主催団体(会場)	参加人数
9月1日(金)	寺子屋ひがしすげ (川崎市立東菅小学校)	83
9月8日(金)	寺子屋のぼりと (川崎市立登戸小学校)	中止
9月15日(金)	NPO 法人 W.Co.キャンディ (大塚会館・こうしん坂公園)	中止
10月12日(木)	はるひ野中学校区地域教育会議 (川崎市立はるひ野小中学校)	332
11月2日(木)	東門前小学校 PTA (川崎市立東門前小学校)	102
11月10日(金)	西菅小学校 PTA (川崎市立西菅小学校)	59
11月17日(金)	田島地区青少年指導員会 (川崎市立さくら小学校)	120
12月1日(金)	古市場小学校 PTA (川崎市立古市場小学校)	133
12月8日(金)	柿生小学校 PTA (川崎市立柿生小学校)	93
12月14日(木)	韋駄天カフェ (川崎市立東生田小学校)	101
12月19日(火)	高津第三地区社会福祉協議会 (川崎市立東高津小学校)	中止
12月21日(木)	藤崎小学校 PTA (川崎市立藤崎小学校)	100
12月22日(金)	真福寺小学校 PTA (川崎市立真福寺小学校)	70
1月12日(金)	寺子屋のぼりと (川崎市立登戸小学校)	62
1月18日(木)	寺子屋みやうち (川崎市立宮内小学校)	139
1月19日(金)	久末小学校 PTA (川崎市立久末小学校)	200
1月26日(金)	旭町小学校 PTA (川崎市立旭町小学校)	120
2月2日(金)	環境局地域環境共創課 (川崎キングスカイフロント東急 REI ホテル)	39
2月15日(木)	西中原中学校夜間学級 (川崎市立西中原中学校)	24
2月16日(金)	NPO 法人 W.Co.キャンディ (大塚会館・こうしん坂公園)	50
3月5日(火)	麻生こども文化センター (川崎市立麻生中学校)	中止
3月8日(金)	田島小学校 PTA (川崎市立田島小学校)	中止
3月22日(金)	野川小学校 (川崎市立野川小学校)	150
開催要請 23 回, 出動 18 回(アストロカー出動 17 回), 天候不良中止 5 回。 参加合計: 1,977 人		

③ 天文サポーター

「星を見る夕べ」等の観察会の開催運営と天文サポーターの資質向上のため、定例会を毎月実施した。主に「星を見る夕べ」参加者に配布する資料の作成、自主ゼミ、天体観測の実習による研修を行った。

担当職員 弘田澄人 内藤武 田中里佳 村上ひろ子 三浦飛未来
12 回実施、のべ 106 人参加

④ サイエンス教室 (天文)

天体観察等を通して星空や天文学への関心を深めるための教室を実施した。

事前申込 参加費 100 円

開催日	内容	講師	対象	参加人数
5月21日 (日)	四季の星座の探し方	塩入樹実 (科学館天文クラブ)	15 歳以上	14
5月27日 (土)	昼間の月と星	田中里佳	15 歳以上	5
7月28日 (金)	日時計を作ろう	村上ひろ子	小学 1~6 年生	17
8月 4日 (金)	プラネタリウム バックヤードツアー	内藤武	小学 4~中学生	8
8月 6日 (日)	プラネタリウム バックヤードツアー	弘田澄人	15 歳以上	7
9月23日 (土)	太陽と季節	田中里佳	小学 4~6 年生	13
11月18日 (土)	惑星を見よう	三浦飛未来	小学 3~中学生	9
3月16日 (土)	ミニ望遠鏡を作ろう	倉橋清紀 (科学館天文サポーター)	小学 4~中学生	12



サイエンス教室
「四季の星座の探し方」



サイエンス教室
「日時計を作ろう」



サイエンス教室
「昼間の月と星」

⑤ プラネタリウムでのイベント

プラネタリウムの星空の下で音楽を楽しむコンサートや、ドームスクリーンと投影設備を活用した映像イベントを実施した。

定員：コンサート 180 名 (90 分 観覧料 1,110 円)

オーロラ 130 名×3 回

(一般向け 60 分 観覧料 900 円 / 子ども向け 45 分 観覧料一般 450 円 中学生以下無料)

開催日	内容：タイトル	出演者	参加人数
10月27日 (金) 28日 (土)	オーロラ特別上映会 「祝 太陽活動極大期 磁気嵐の真っ赤なオーロラをプラネタリウムで体験」	オーロラメッセンジャー 中垣哲也	328
12月 2日 (土)	プラネタリウムコンサート 「星空に響き渡るトランペットの調べ」	松山萌 (東京交響楽団トランペット奏者) 林浩子 (ピアノ)	148



オーロラ特別上映会



プラネタリウムコンサート

⑥ 天文講演会

開催日	内容：タイトル	講師	参加人数
2月10日（土）	大平貴之氏講演会 「地上最高の星空づくりを目指して」	大平貴之氏 (有限会社大平技研代表取締役)	132

⑦ アストロテラス公開

－ 1 アストロテラス一般公開

自然学習棟3階のアストロテラスにて、平日の昼間、モニター上での太陽観察を行った。
天候不良時及び熱中症危険レベルの場合は中止とした。

公開日	時間	観察する天体
平日（休館日を除く）	14:00～14:45 (7,8月は15:45～16:15)	太陽（白色光、H α 光）

参加者数合計 4,324名

－ 2 昼間の星を見る会

アストロテラスにて、昼間、20cm望遠鏡と太陽望遠鏡を使い、明るい恒星や惑星と太陽の観察会を行った。
11月までは先着30人まで整理券配布、時間指定による入替制、12月からは先着50人で行った。
天候不良時は中止とした。

公開日	時間	観察する天体
月2回程度・日曜日 (7,8月を除く)	午前の部：11:00～12:00 午後の部：14:00～15:00	太陽（白色光、H α 光） 金星、ベガ、シリウス等

計12回開催（12回中止）参加者数合計 463名

⑧ プラネタリウムワークショップ

プラネタリウムや宇宙に興味を持つ子どもたちが参加し、プラネタリウムの番組を制作し、発表する教室を実施した。

対象 小学4～6年生
講師 田中里佳（定員12名 事前申込 参加費無料）

	開催日	講座内容
第1回	5月28日（日）	開講式、オリエンテーション
第2回	6月18日（日）	プラネタリウムってなんだろう？
第3回	7月23日（日）	プラネタリウムの仕組みを知ろう
第4回	9月3日（日）	プラネタリウムを動かしてみよう
第5回	9月24日（日）	どんな話をしたいか考えよう
第6回	10月29日（日）	シナリオを作ろう
第7回	11月26日（日）	シナリオを作ろう
第8回	12月17日（日）	練習をしよう
第9回	1月21日（日）	練習をしよう
第10回	2月18日（日）	練習をしよう
第11回	3月10日（日）	リハーサルをしよう
第12回	3月24日（日）	発表会



プラネタリウムワークショップ

⑨ プラネタリウム発表会

ー 1 市民プラネタリウム発表会

市民団体かわさきプラネタリウム同好会が番組制作、操作、解説を行うプラネタリウム投影を実施した。

開催日	時間	内容	参加人数
3月3日(土)	16:10~16:50		131

ー 2 高校生によるプラネタリウム発表会

近隣の学校と連携した事業として、日本女子大学附属高等学校と連携し、天文クラブ生徒によるプラネタリウム番組の制作、投影発表会を実施した。

開催日	時間	内容	参加人数
9月17日(日)	17:00~17:45	クラブ活動の様子を交えながら太陽系の惑星や四季の星座を解説。	50
9月18日(月)	17:00~17:45		64



高校生のプラネタリウム発表会

⑩ プラネタリウム特別投影

外部講師を招いた投影や、通常と異なるコンテンツの上映などプラネタリウムでの特別投影を行った。

開催日	時間	内容	参加人数
8月27日(日)	16:30~17:15	南極の星空 講師 遠藤哲歩氏(元国立極地研究所)	103
9月2日(土)	15:00~15:45 16:30~17:15	震災特別番組「星よりも、遠くへ」 (仙台市天文台制作・配給)	200
2月4日(日)	16:00~17:00	ウクライナの星空の下で 講師 オレナ・ゼムリヤチェンコ氏(ウクライナ ハルキウプラネタリウム解説員)	166
3月2日(土)	16:30~17:15	震災特別番組「星よりも、遠くへ」 (仙台市天文台制作・配給)	56



特別投影「ウクライナの星空の下で」

(3) 科学

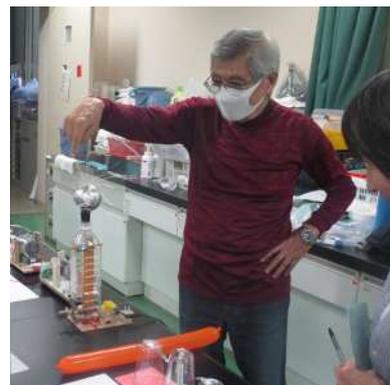
① サイエンス教室 (科学)

自然、天文、科学の各分野のテーマを前面に伝えることで、市民に分かりやすく選択しやすくなるように広報の効率化を図った。令和5年度は科学教育分野として32回を実施した。

(定員 12～24名 親子参加型 10～20 組事前申込 受講料 100円 10/22、12/10の大人向け教室は600円)

開催日	内容	講師	対象	参加人数
4月8日(土)	コマっておもしろい!	かわさきアトム工房	小学1～6年生	7
5月6日(土)	樹脂の種類と性質～アクセサリーづくり～	NPO法人 科学実験教室 サポーター・くじら	小学3～6年生	7
5月13日(土)	振動モーターカーをつくろう	かわさきアトム工房	小学1～6年生	11
5月28日(日)	親子で走らせよう!「クリップモーターカー」	トラボクラブ	小学1・2年生	14
6月3日(土)	色の不思議を見てみよう	NPO法人 科学実験教室 サポーター・くじら	小学3～6年生	10
6月10日(土)	吹き矢の科学	かわさきアトム工房	小学1～6年生	13
7月1日(土)	大気圧をつかって噴水をつくろう	NPO法人 科学実験教室 サポーター・くじら	小学3～6年生	10
7月8日(土)	調べてみようプラスチック	かわさきアトム工房	小学1～6年生	12
7月23日(日)	くるくる磁石 磁石を動かそう	科学サポーター研修生	小学1・2年生	20
8月12日(土)	光通信を体験しよう	かわさきアトム工房	小学3～6年生	15
9月2日(土)	サビの正体を知ろう	NPO法人 科学実験教室 サポーター・くじら	小学3～6年生	10
9月9日(土)	2進数の不思議をさぐろう	かわさきアトム工房	小学3～6年生	7
10月1日(日)	飛ばしてみよう!「マグナスパイプ」	トラボクラブ	小学1・2年生	24
10月7日(土)	二酸化炭素って何	NPO法人 科学実験教室 サポーター・くじら	小学3～6年生	14
10月9日(月・祝)	キレイな水をつくってみよう	館職員	小学1～3年生	20
10月10日(火)	登るてんとう虫のおもちゃ(かわさき家庭と地域の日)	かわさきアトム工房	小学1～6年生	10
10月14日(土)	磁石のヒミツをさぐろう	かわさきアトム工房	小学3～6年生	10
10月15日(日)	ロボットプログラミング教室	チーム・コスモス	小学4～6年生	14
10月22日(日)	静電気の力を体験しよう～フランクリンモーターの製作～	トラボクラブ	15歳以上 (中学生除く)	4
11月4日(土)	飛行機の化学～飛行の原理～	NPO法人 科学実験教室 サポーター・くじら	小学4～6年生	14
11月11日(土)	偏光板を探ろう!	かわさきアトム工房	小学4～6年生	10
12月2日(土)	塩の科学～塩でいろいろ実験～	NPO法人 科学実験教室 サポーター・くじら	小学3～6年生	15
12月9日(土)	いろいろな月	かわさきアトム工房	小学4～6年生	17
12月10日(日)	バネの科学～バネの役割や構造理論を学ぼう～	サイエンス・ちゃれんじ・チーム	15歳以上 (中学生除く)	8
1月6日(土)	磁石の力を見てみよう	NPO法人 科学実験教室 サポーター・くじら	小学3～6年生	7
1月13日(土)	チリメンモンスターをさがそう!	かわさきアトム工房	小学3～6年生	18
1月28日(日)	親子で作ろう!光の3D万華鏡	トラボクラブ	小学1・2年生	38
2月3日(土)	電池を作ろう	NPO法人 科学実験教室 サポーター・くじら	小学3～6年生	15
2月10日(土)	電気ブランコをつくろう	かわさきアトム工房	小学3～6年生	17
3月2日(土)	電気と磁石のつながり～電磁誘導～	NPO法人 科学実験教室 サポーター・くじら	小学3～6年生	10
3月9日(土)	光と色の影で遊ぼう	かわさきアトム工房	小学1～6年生	16
3月10日(日)	ロボットプログラミング教室	チーム・コスモス	小学4～6年生	12
32回実施 計				429

10月のサイエンス教室の様子



(左から 10/1 飛ばしてみよう！「マグナスパイプ」 10/14 磁石のヒミツをさぐる 10/22 静電気の力を体験しよう)

② サイエンスワークショップ

ー1 サイエンスワークショップ

1回 15～20分程度でできる工作・実験等の体験学習事業。令和5年度5月までは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会場となる学習室を広く設定し、整理券による完全入替制にて開催した。5類移行となった6月以降は、先着順での入替方式にて実施した。

講師：かわさきアトム工房、トラボクラブ、NPO法人科学実験教室サポーター・くじら、サイエンス・ちゃれんじ・チーム、チーム・コスモス、科学館職員

担当職員： 高中健一郎 杉浦孝弘 齋藤紫保 服部隆博 津田由美子 (参加自由 無料)

開催日	内容	参加人数
4月1日(土)	リベンジ！スマイルを調べてみよう(自然分野)	21
4月8日(土)	うさぎのヤジロベエ	29
4月15日(土)	2連結ブンブンコマ	39
4月22日(土)	立体カードを作ってみよう	36
4月29日(土・祝)	塩でいろいろ遊ぼう	39
5月1日(月)	アルソミトラの種の模型を飛ばそう	21
5月2日(火)	うさぎのカライドサイクルを作ろう	7
5月3日(水・祝)	マグヌスコップをつくり、飛ばそう	45
5月4日(木・祝)	あおむしくん(磁石で動かそう)	45
5月5日(金・祝)	パタパタチェンジカード	53
5月6日(土)	地層の中をのぞいてみよう(自然分野)	47
5月13日(土)	メビウスの輪で遊ぼう	22
5月20日(土)	ネジであそぼう！	29
5月27日(土)	Xジャイロを飛ばそう	17
6月3日(土)	アルソミトラの飛行機を飛ばそう	35
6月10日(土)	コロコロカップで遊ぼう	45
6月17日(土)	ねじれであそぼう(ミサンガ)	61
6月24日(土)	だんごブンブンコマ	50
7月1日(土)	くるくる短冊を作ってみよう	55
7月8日(土)	わかコロコロ あしパタパタ	42
7月15日(土)	皿回しに挑戦しよう！	55
7月17日(月・祝)	くるくるクラゲを作ろう	67
7月22日(土)	星座早見缶を作ってお星さまを探そう	50
7月29日(土)	紙トンボを飛ばそう	63
8月11日(金・祝)	夏の生田緑地をたんさくしよう！(自然分野)	39
8月12日(土)	紙ドローン	55
8月19日(土)	音であそぼう～でんでんたいこつくり～	59
8月26日(土)	ぶんぶんゼミをつくろう	43
8月27日(日)	パタパタあおむし	90

9月2日(土)	ゆらゆら・コロコロ・へんてこりん??	36
9月9日(土)	キラキラ万華鏡	64
9月16日(土)	スーパーボールでロケットを飛ばそう!	65
9月18日(月・祝)	ロボットハンドを作ってみよう!	68
9月23日(土)	マジックハンドをつくろう	58
9月30日(土)	ふしぎな首振りワンコ	81
10月7日(土)	秋の生田緑地をたんさくしよう!(自然分野)	66
10月10日(火)	ドングリを調べてみよう!!(自然分野)	37
10月14日(土)	ラワンの種を飛ばそう	71
10月21日(土)	紙ゼンマイレーシングカーを作ってはしらせよう	47
10月28日(土)	スーパーボールロケットをつくろう	66
11月4日(土)	火山灰をさぐろう!(自然分野)	41
11月11日(土)	水性サインペンでしおりを作ろう	38
11月18日(土)	光の色を見てみよう	64
11月23日(木・祝)	もどり車を作ろう!	64
11月25日(土)	光のスペクトル～分光器をつくろう～	52
12月2日(土)	飛び出すカードを作ってみよう	34
12月9日(土)	偏光板で遊ぼう	45
12月16日(土)	てんびんを作ろう	50
12月23日(土)	立体カレンダーを作ろう	28
1月6日(土)	冬の生田緑地をたんさくしよう!(自然分野)	28
1月8日(月・祝)	プラコップUFOを飛ばそう	72
1月13日(土)	やじろべえで遊ぼう	66
1月20日(土)	タンサン水であそぼう!	55
1月27日(土)	あぶり出し	44
2月3日(土)	見えない力(静電気)を使ってみよう	62
2月10日(土)	机に置ける!かざぐるま	54
2月12日(月・祝)	キュービックパズルで遊ぼう	87
2月17日(土)	ひとりだけのプラネタリウム	36
2月24日(土)	色変わりブンブンこま	58
3月2日(土)	春の生田緑地をたんさくしよう!(自然分野)	68
3月9日(土)	六角へんし～んカード	35
3月16日(土)	ゴム動力で走り回る車	65
3月23日(土)	絵合わせパズル	28
3月30日(土)	タンポポを調べてみよう(自然分野)	40
	64回実施 合計	3,132



10/21 開催「紙ゼンマイレーシングカー」

ー 2 サイエンスショー

来館者の科学に関する興味・関心を深めることを目的としたサイエンスショー（科学実験ショー）を開催した。学習室を会場に、整理券方式で午前・午後を実施した（写真右は11月開催時）。

なお、11・2月開催のサイエンスショーは、サイエンスワークショップの事業に含めている。

講師： 網倉 聖子 氏（11月担当・トラボクラブ）
飯塚真喜子 氏（2月担当・トラボクラブ）



担当職員： 高中健一郎 杉浦孝弘 齋藤紫保 服部隆博 津田由美子 (参加自由 無料)

開催日	内 容	参加人数
令和5年 11月3日（金・祝）	ブローマンに挑戦！	(午前の部) 44
	〃	(午後の部) 52
令和6年 2月23日（金・祝）	タンサン水はどこにある？	(午前の部) 50
	〃	(午後の部) 46
計4回実施 合計		192

③ 子ども創意くふう教室

子どもの創造性を伸ばすことを目的に、一人ひとりが作りながら考えるものづくり体験学習教室として連続5回実施した。

対象： 小学4年生～中学生

講師： 高橋裕氏（NPO法人教育活動総合サポートセンター）

担当職員： 服部隆博

(定員20名 事前申込 参加費500円)

開催日	内 容	参加人数
12月3日（日）	パズルでくふう	13
12月10日（日）	鏡でくふう	12
12月17日（日）	カードでくふう	13
1月7日（日）	磁石でくふう	9
1月21日（日）	自らくふうしてみよう	12
計5回実施 合計		59

※5回の連続講座として、参加者を一括募集にて実施した。



④ 出前科学実験教室

市内の学校団体や地域団体から依頼を受けて、業務委託先である科学市民団体から講師を派遣することで、実験キット「ワクワクドキドキ玉手箱」を使った出前実験教室を開催した。

講師： かわさきアトム工房

担当職員： 杉浦孝弘 津田由美子

開催日	実施団体	内 容	参加人数
5月10日（水）	YUME School 川崎校	コマで遊ぼう	8
6月23日（金）	川崎市立菅小学校	超低温の世界（4回実施）	132
7月15日（水）	みた・まちもり寺子屋	真空の科学	44
7月24日（月）	よつばクラブ 1年生	空気と水の実験	37
7月27日（木）	川崎市立井田小学校分教室かなで	ドライアイスであそぼう	16
7月31日（月）	よつばクラブ元住吉 3～6年生	ドライアイスであそぼう	27
8月2日（水）	よつばクラブ元住吉 2年生	空気と水の実験	28
8月4日（金）	川崎市立千代ヶ丘小学校わくわくプラザ	浮沈子	63
8月8日（火）	川崎市立下沼部小学校わくわくプラザ	超低温の世界	67
8月23日（水）	川崎市立玉川小学校わくわくプラザ	科学マジック	50
8月30日（水）	川崎市立下沼部小学校サポート室	科学マジック	21
9月19日（火）	川崎市立野川小学校	虹をつくろう	24
9月26日（火）	川崎市立南加瀬中学校	音	58
9月28日（木）	川崎市立古川小学校	ドライアイスで遊ぼう	21
9月30日（土）	宮前区子ども連合会	のぞいてみよう光の世界	18
10月7日（土）	川崎市立金程中学校	綱渡りヤジロベエ	40

10月14日(土)	寺子屋たかつ	色が変わるふしぎな水の正体	36
10月18日(水)	YUME School 川崎校	紙でパズル	6
10月21日(土)	川崎市立川中島中学校	虹をつくろう(2回実施)	56
10月21日(土)	川崎市立川中島中学校	大気圧を感じよう(2回実施)	70
11月11日(土)	川崎市立百合丘小学校寺子屋「ゆりっ子」	鏡を使って遊ぼう	19
11月13日(月)	川崎市はるひ野小学校	超低温の世界	28
11月18日(土)	川崎市立西高津中学校	ゾートロープを作ろう	28
11月23日(木)	川崎市立下作延小学校	重心で遊ぼう(2回実施)	80
12月14日(土)	川崎市立古川小学校	君も科学捜査官	26
12月18日(月)	川崎市はるひ野小学校	科学マジック	28
12月21日(木)	寺子屋しゅくがわら	もしも原子が見えたなら	16
12月26日(火)	川崎市立下沼部小学校わくわくプラザ	大気圧を知ろう	65
1月23日(火)	川崎市立野川小学校	大気圧を感じよう	22
2月13日(火)	川崎市立上丸子小学校	君も科学捜査官	29
2月23日(金)	かたひらほっとカフェ	科学マジック	48
3月7日(木)	寺子屋しゅくがわら(低学年)	大気圧	30
3月10日(日)	寺子屋しゅくがわら(高学年)	もしも原子が見えたなら	9
39回実施			1,250

⑤ かわさきサイエンスチャレンジ「科学と遊ぼう！ワクワクドキドキ玉手箱」

子どもたちに科学の面白さや楽しさを体験できる機会を提供するため、かわさきサイエンスチャレンジ運営委員会が主催する科学の祭典「かわさきサイエンスチャレンジ」において、「科学とあそぼう！ワクワクドキドキ玉手箱」を開催した。当日参加型のワークショップを令和5年8月5・6日(土・日)の2日間で実施した。

開催場所：かながわサイエンスパーク(KSP)川崎市高津区坂戸3-2-1



(各回定員8名 サイエンスショーは定員50名 参加費無料)

タイトル	講師(団体)	参加人数	
		5日	6日
ミラーシートであそぼう	かわさきアトム工房	285	337
空気と風であそぼう	NPO 法人科学実験教室サポーター・くじら		
ギンギシプロペラ	蔵前理科教室ふしぎ不思議		
回るときれ〜い!!「2連ブンブンコマ」	サイエンス・ちゃれんじ・チーム		
層になる!?液体のふしぎ実験	明治大学生田ボランティアセンター		
ペーパークロマトグラフィーでしおりを作ろう(6日出展)	チーム・コスモス		
サイエンスショー 「プロウーマンに挑戦!」「紙の変身」 「いろ!イロ!水のカメレオン」	トラボクラブ	126	155
2日間 合計		903	

⑥ 科学サポーター研修会

市民を対象として、子どもたちに科学の楽しさを伝えることのできる指導者を育成するための講座(全6回)を開講した。研修受講者は、館内イベント(サイエンス教室・サイエンスワークショップ)において科学実験の実演を行った。

対象：18歳以上(高校生不可)

受講生：11名(うち修了生11名)

講師：由良文隆氏 田中艸太郎氏 村上千登勢氏(かわさきアトム工房) 館職員



担当職員：杉浦孝弘

(定員12名 事前申込 参加費500円)

開講日	内容	参加人数
7月2日(日)	ガイダンス、ワクワクドキドキ玉手箱実験紹介①、実験と安全について、実験教室の運営について	10
7月9日(日)	ワクワクドキドキ玉手箱実験紹介②、テーマを大切にしたい実験教室の実際、7月23日の実験教室のプログラム作成	10

7月23日(日)	科学実験教室「くるくる磁石 磁石を動かそう」アシスタントの実践、実験教室の反省とサイエンスワークショップの実施準備	11 20	※1
8月20日(日)	サイエンスワークショップに向けての工作・実演準備	10	
8月27日(日)	科学サポーター研修生によるサイエンスワークショップ「パタパタあおむし」開催	11 90	※2
9月9日(土)	修了式、地域での活動について	10	
連続6回 合計		62	

※1 サイエンス教室「くるくる磁石 磁石を動かそう」を開催し、科学教室アシスタントとしての実践を行った。小学生親子20名の参加があった。

※2 科学サポーター受講生によるサイエンスワークショップを開催し、90名が利用した。

⑦ 出前教室

科学館職員が、実施団体から依頼を受けて自然、天文、科学に関する題材をテーマに出前教室を行う。

開催日	実施団体	内容	担当	参加人数
7月16日(日)	六郷図書館	コウモリってどんな生きもの？	高中健一郎	16
11月9日(木)	高津市民館	市民講師、はじめてみませんか。	津田由美子	10
2団体 2回実施合計				26

⑧ ゆうゆう広場科学実験教室

川崎市適応指導教室(ゆうゆう広場)からの依頼を受けて、「ワクワクドキドキ玉手箱」などを使った科学実験教室や出前科学実験教室を行った。

講師：由良文隆氏(かわさきアトム工房)

担当職員：杉浦孝弘

開催日	実施団体	会場	内容	参加人数
5月17日(水)	ゆうゆう広場・みゆき	青少年科学館	「ばくはつ」 燃える固体・液体・気体	3
5月24日(水)	ゆうゆう広場・さいわい			5
5月31日(水)	ゆうゆう広場・なかはら			5
6月7日(水)	ゆうゆう広場・たかつ			8
6月14日(水)	ゆうゆう広場・たま			3
6月21日(水)	ゆうゆう広場・あさお			8
7月5日(水)	ゆうゆう広場・みゆき	ゆうゆう各広場	紙でパズル	4
7月12日(水)	ゆうゆう広場・さいわい			6
9月6日(水)	ゆうゆう広場・なかはら			5
9月13日(水)	ゆうゆう広場・たかつ			6
9月20日(水)	ゆうゆう広場・たま			4
9月27日(水)	ゆうゆう広場・あさお			6
11月1日(水)	ゆうゆう広場・みゆき	ゆうゆう各広場	うかせてあそぼう	3
11月8日(水)	ゆうゆう広場・さいわい			7
11月15日(水)	ゆうゆう広場・なかはら			9
11月22日(水)	ゆうゆう広場・たかつ			7
11月29日(水)	ゆうゆう広場・たま			6
12月6日(水)	ゆうゆう広場・あさお			7
1月10日(水)	ゆうゆう広場・みゆき	青少年科学館	電子レンジであたためてみよう	5
1月17日(水)	ゆうゆう広場・さいわい			9
1月24日(水)	ゆうゆう広場・なかはら			7
2月7日(水)	ゆうゆう広場・たかつ			10
2月14日(水)	ゆうゆう広場・たま			4
2月21日(水)	ゆうゆう広場・あさお			9
計24回実施 合計				146

⑨ 「ワクワクドキドキ玉手箱」の活用

科学を身近に体験できるように開発した科学実験キット「ワクワクドキドキ玉手箱」を、サイエンス教室(①)、サイエンスワークショップ(②)、出前科学実験教室(④)、学校の貸出要請などで活用し、子どもの科学への関心の喚起・促進を図った。

「ワクワクドキドキ玉手箱」利用状況

No.	玉手箱の名称	実施回数	No.	玉手箱の名称	実施回数
1	「光通信」光でモシモシ	1	13	重心であそぼう!	6
2	浮沈子	2	14	もしも原子が見えたなら	1
3	モーター	1	15	熱をだすもの	0
4	電池を作ろう!	0	16	真空の科学	1
5	川崎自然ロケ隊	5	17	超低温の世界	3
6	飛ぶもの	5	18	虹をつくろう!	3
7	科学マジックショー	19	19	ドライアイスであそぼう!	3
8	君も科学捜査官	1	20	音	2
9	水ロケットを科学する	0	21	磁石	4
10	鏡を使って遊ぼう	3	22	レンズ	0
11	燃えるもの	0	23	DNA	0
12	大気圧を感じよう	2	24	静電気	0
			合計		62



ワクワクドキドキ玉手箱No.17「超低温の世界」 梱包時(左)・内容物(右)

⑩ 「夏休み そらみど♪小学生おしごと体験」

小学生を対象として、科学館の自然・天文分野の学芸業務を体験する講座を8月に開催した。

参加児童が来館者や保護者へ、自然展示内容やプラネタリウムでの生解説を行う体験プログラムを実施した。
(対象: 小学校4~6年生 定員: 12名 参加費無料)

開催日	内容	担当	参加人数
8月13日(日)	自然展示解説の体験、プラネタリウム解説の体験	自然科学班・天文班	11



(4) 出版事業

①川崎市青少年科学館紀要 第34号

論文・報告・記録

- ・生田緑地におけるムネアカハラビロカマキリ *Hierodula chinensis* の個体数抑制の可能性について
..... 高中健一郎
- ・川崎市北部におけるアカアシオオアカミキリ *Chloridolum japonicum* (Harold)の分布拡大と繁殖行動について
..... (雛倉正人・三田村瞬)
- ・川崎市におけるヤナギ科 Salicaceae を寄主植物とするシャチホコガ科 Notodontidae の記録
..... (横田光邦・三田村瞬・平野敦士)
- ・川崎市におけるヤガ科 2 種の記録
..... (横田光邦・三田村瞬)
- ・川崎市におけるケンモンヤガ亜科 Acronictinae 2 種の幼虫記録
..... (横田光邦・三田村瞬)
- ・川崎市高津区で採集されたナチシダ *Pteris wallichiana* J.Agardh の初記録について
..... (大貫はるみ・島津キク江・園田明子・田村成美)・高中健一郎
- ・多摩川ワンドにおける希少植物の記録について
..... (佐藤登喜子・吉留憲子)・高中健一郎
- ・生田緑地におけるラン科植物の記録
..... (白澤光代・佐藤登喜子)・高中健一郎
- ・自然講演会「宙(そら)と緑の寄席 ～タヌキと自然と人と～」実施報告
..... (本郷智子)
- ・2023年のプラネタリウム一般向け番組制作..... 弘田澄人・内藤武・三浦飛未来・田中里佳・村上ひろ子
- ・2022年11月8日皆既月食・天王星食観測記録
..... 田中里佳・内藤武・弘田澄人
- ・観測キャンペーン「皆既月食の色を観察しよう！」実施報告
..... 田中里佳・弘田澄人
- ・2023年度夏季「かわさき星空調査」(肉眼による調査) 結果報告
..... 田中里佳
- ・2022年の太陽黒点観測報告..... 内藤武・田中里佳・三浦飛未来・村上ひろ子・弘田澄人・(石坂あすみ)
- ・GNC-40 と CMOS カメラを用いた系外惑星候補天体の測光観測の試み
..... (瀬川 諒・鈴木秀彦)・弘田澄人
- ・七夕・月見の2023年度他館連携事業～川崎市立日本民家園と青少年科学館を事例に～
..... (真保 元)・内藤武
- ・気象観測記録 (2023)
..... 高中健一郎

目録

- ・川崎市北西部の蛾類の記録 (2019年～2022年) -1990年からの継続調査-
..... (宮内隆夫・佐野悦子・成田和子・横田光邦・雛倉正人・岩崎信一)
※ () 内は職員外

②企画展図録

企画展「誕生100年 プラネタリウムの舞台裏」図録 (令和5年7月刊行)



(5) その他

新聞記事を含む普及的著作

- 高中健一郎, 2023a. 神奈川新聞 生田緑地春夏秋冬 214. 「初夏の花たち」(令和5年5月16日付) .
- 加藤晴暉, 2023. 神奈川新聞 生田緑地春夏秋冬 217. 「ヤマユリ」(令和5年7月4日付) .
- 高中健一郎, 2023b. 神奈川新聞 生田緑地春夏秋冬 226. 「ヒヨドリジョウゴ」(令和5年11月21日付) .
- 加藤晴暉, 2024. 神奈川新聞 生田緑地春夏秋冬 232. 「雪」(令和6年2月20日付) .

6 ネットワーク事業

(1) 展示・企画

① 科学講座「かながわりレー科学教室」

神奈川県立青少年センターとの共催事業として、県内施設巡回での科学実験教室を開催した。県内の小学生(主に川崎市内の小学生)を対象に、科学体験活動(前半サイエンスショー、後半科学工作)を実施した。

対象： 小学3～6年生

講師： 神奈川県立青少年センター職員・市民ボランティア

担当職員： 杉浦孝弘

(事前申込 参加費 無料)

開催日	内 容	参加人数
7月16日(日)	かながわりレー科学教室	46
	合計	46

② FIELD MUSEUM展：親子で楽しく学べるカガクおもちゃ

専修大学ネットワーク情報学部 2年コンテンツデザインプログラムを専攻する学生たちが、学童保育施設との連携にもとづきデザインした体験型教材について、9つのブースによるワークショップ形式で開催した。会場を学習室と科学館外周に広げ、参加者に様々な科学おもちゃの体験機会を提供した。

開催日： 令和6年1月14日（日）

展示場所： 自然学習棟 2階学習室・科学館外周
（参加自由 無料）

参加人数： 300名



③ 市制100周年記念プレ事業「かわさきの環境・100年」

川崎市環境局地域環境共創課と連携して、川崎の発展と環境の歴史を振り返り未来を考える契機となるよう企画展「かわさきの環境・100年」を科学館1階フロアにて開催した。

期間：3月5日（火）～3月20日（水）

会場：科学館1階フロア中央

観覧料：無料



(2) 調査研究・収集保存

① 川崎市域の生物調査

これまでの調査結果をまとめ、「特定非営利活動法人かわさき自然調査団」と協働で「川崎市高津区で採集されたナチシダ *Pteris wallichiana* J.Agardh の初記録について」、及び「多摩川ワンドにおける希少植物の記録について」及び「生田緑地におけるラン科植物の記録」を紀要第34号で公表した。また、調査研究事業のムネアカハラビロカマキリ調査では、神奈川県立生命の星・地球博物館の昆虫を専門とする学芸員にご助言をいただいた。

(3) 学習支援

① 職場体験・職業インタビュー

中学校等の依頼に基づき、博物館業務の解説、業務の一部を体験学習させる職場体験を行った。職場体験に参加した中高生による展示紹介のポップ作り（写真右）を実施し、学校支援の取組を来館者へ発信した。



実施日	実施校	実施形態	参加人数
6月1日（木）	川崎市立菅中学校	職場体験	6
7月4日（火）	川崎市立柿生中学校	職場体験	3
7月4日（火）	川崎市立麻生中学校	職業インタビュー	1
7月5日（水）	川崎市立菅生中学校	職場体験	5
7月25日（火）	川崎市立豊学校	職場体験	1
8月1日（火）	インターンシップ地域連絡協議会 （県立川崎、多摩、生田、百合丘高等学校）	職場体験	5
9月12日（火）	川崎市立宮崎中学校	職業インタビュー	24
11月7日（火）	川崎市立西高津中学校	職場体験	6
11月8日（水）	川崎市立金程中学校	職場体験	4
11月15日（水）	川崎市立西中原中学校	職場体験	6
11月15日（水）	川崎市立宮前平中学校	職業インタビュー	7
11月16日（木）	川崎市立中野島中学校	職場体験	6
11月21日（火）	川崎市立生田中学校	職場体験	2
11月22日（水）	川崎市立西生田中学校	職場体験	4
12月5日（火）	日本大学文理学部	収蔵庫見学	19
12月7日（木）	川崎市立井田中学校	職場体験	6
1月16日（火）	川崎市立白鳥中学校	職場体験	6

1月23日(火)	川崎市立向丘中学校	職場体験	2
1月25日(木)	川崎市立はるひ野中学校	職場体験	4
1月26日(金)	川崎市立南菅中学校	職場体験	1
2月1日(木)	川崎市立川中島中学校	職場体験	5
2月21日(水)	川崎市立長沢中学校	職場体験	3
22回実施 合計			126

② 中学校連合文化祭開催への協力

川崎市立中学校連合文化祭実行委員会の依頼に基づき、県理科作品展の優秀作品及び日本学生科学賞出品の中学生による研究発表会に参加し、北部中学校の会場として協力した。

開催日：令和5年10月25日(水)

場所：自然学習棟2階学習室・プラネタリウムドーム

参加者：86名

(多摩区、麻生区の市立中学校生徒70名・教員16名)

主催：川崎市立中学校連合文化祭実行委員会(理科部門)

担当職員：杉浦孝弘 内藤武



③ 教員研修会

市内外の小中学校及び理科研究会などの依頼により実施した。

担当職員：高中健一郎 杉浦孝弘 齋藤紫保 服部隆博 津田由美子

開催日	内容	対象	参加人数
4月26日(水)	地層学習研修	川崎市立川中島小学校	4
7月27日(木)	地層学習研修	川崎市立菅小学校	3
7月26日(水)	科学実験研修	中学校理科初任者教員指導力向上研修	12
7月26日(水)	臨地・天体観測研修	川崎市総合教育センター主催教員研修	32
8月25日(金)	地層学習研修	川崎市立住吉小学校	4
8月25日(金)	地層学習研修	川崎市立東柿生小学校	4
8月29日(火)	地層学習研修	川崎市立百合丘小学校	4
9月23日(土)	天体観測研修	横浜国立大学主催教員CST養成プログラム	8
10月3日(木)	地層学習研修	藤沢市立湘南台小学校	2
10月27日(金)	地層学習研修	川崎市立向丘小学校	4
1月17日(水)	地層学習研修	川崎市立藤崎小学校	4
計11回 11校・団体 合計			81

④ 教職員社会体験研修

主に、神奈川県内の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校に勤務する教職員の5年経験者研修内での社会体験研修としての要請により、社会教育施設の業務体験の機会を提供する。

実施日	実施校	参加人数
8月2・3日(水・木)	神奈川県立中原支援学校 教員	1
合計		1

⑤ 博物館実習

大学からの依頼により、学芸員実習(博物館実務実習)を実施した。

担当職員 弘田澄人 高中健一郎 杉浦孝弘 内藤武

受入日	大学名	参加人数
8月15日(火)～25日(金)	千葉大学、筑波大学、東京農業大学、日本大学、明治大学、東海大学、立正大学	10

⑥ 川崎市小学校理科優秀作品展

児童の今後の理科学習への意欲・関心喚起を目的として、川崎市内の小学生が夏休みを中心に取り組んだ理科自由研究の中から、優秀と認められた 7 作品（各区の市長賞受賞作品）を展示した。

開催期間： 令和 5 年 12 月 1 日（金）～12 月 28 日（木）観覧自由
 展示場所： 自然学習棟 1 階プラネタリウムドーム入口横壁面
 担当職員： 杉浦孝弘



⑦ 川崎市中学校理科優秀作品展

小中学生の今後の理科学習への意欲・関心喚起を目的として、川崎市内の中学生が取り組んだ理科研究作品の中から、優秀と認められた 8 作品（川崎市中学校理科作品展金賞受賞作品及び日本学生科学賞神奈川県作品展特別賞受賞作品など）を展示した。

開催期間： 令和 6 年 1 月 16 日（火）～2 月 4 日（日）観覧自由
 展示場所： 自然学習棟 1 階プラネタリウムドーム入口横壁面
 担当職員： 杉浦孝弘



（4）地域振興・生田緑地内

① 川崎市立多摩図書館との連携事業

「物語でめぐる星の世界 その 8 ～猫が見上げた宇宙～」

多摩図書館との連携により、プラネタリウムにおいて星空投影と合わせた、読み聞かせ事業を行った。

開催日： 令和 5 年 11 月 4 日（土）
 参加者： 123 名
 主催： たまく絵本の会、多摩図書館、科学館
 担当職員： 村上ひろ子

② 多摩区民祭

例年 10 月に生田緑地で開催される多摩区民祭（主催：多摩区役所）の一行事として、プラネタリウムにおいて「季節の星空」と題する 30 分間の投影を、かわさきプラネタリウム同好会の協力により実施した。

開催日： 令和 4 年 10 月 15 日（土）
 投影回数： 4 回



③ 生田緑地お月見フェスタ

指定管理者の主催により、例年夏に生田緑地及び緑地内各施設を会場に開催。当館でも展示やワークショップ等の特別行事を実施し、連携・協力している。昨年度から「お月見フェスタ」として開催し、今年度は 9 月 30 日に 11 時から 20 時まで開催した。当館においては、お月見プラネタリウムとして、中秋の名月について子どもから大人まで観覧いただける特別投影を実施した。また、民家園の学芸員と当館学芸員が合同で、民家園でのお月見トーク（昼）を実施、ステージイベントでも当館学芸員がお月見トーク（夕）を行った。

④ 日本民家園との連携事業「七夕体験」「お月見デー」の実施

「七夕体験」

民家園では年中行事として七夕飾りを古民家に展示し、科学館では子ども向け番組として「七夕ものがたり」を投影した。両日のプラネタリウム観覧者全員にオリジナル短冊を配布した。民家園に短冊を持参すると七夕飾りに参加・体験することができ、ミニ笹のプレゼントも行われた。

開催日	内容	参加人数
7 月 1 日(土)、 2 日(日) (4 回投影)	子ども向け投影「七夕ものがたり」	536

「お月見デー」

民家園では、お月見飾りの展示と両施設職員による屋外での「お月見トーク」を実施し、科学館ではお月見プラネタリウムを実施した。民家園と科学館共同で動画「お月見を楽しもう！」を制作して両施設のホームページ等で公開した。

開催日	内容	参加人数
9月30日(土)	お月見トーク	約50 ※自由参加
	お月見プラネタリウム	200



科学館に飾られた七夕飾り



民家園でのお月見トーク

⑤ 川崎天文同好会 70周年記念式典・市民天文講演会

川崎天文同好会の創立70周年記念式典に合わせて天文講演会を、科学館学習室を会場に開催した。

開催日： 令和5年11月26日(日)

演題及び講師：「天文楽のすすめ」春日了氏(プラネターリウム銀河座)
「宮沢賢治と星の世界」渡部潤一氏(国立天文台)

参加者： 81人

⑥ 非日常のにぎわいイベント「登戸・遊園 ミライノバ ハレの日」

川崎市と小田急電鉄株式会社が事務局を務め、登戸・遊園エリアの関係団体等で構成する実行委員会の主催イベント「登戸・遊園 ミライノバ ハレの日」に出展した。当日は、ベンハムの模様を加えたブンブンゴマの工作を実施した。

開催日： 令和5年11月12日(日)

参加者： 191人

主催： 『登戸・遊園ミライノバ』ハレの日実行委員会

担当職員： 杉浦孝弘 齋藤紫保 津田由美子



(5) 生田緑地内施設及び指定管理者との広報活動の推進、各施設の回遊性の向上

① 夏休み生田緑地スタンプラリー

生田緑地内の回遊性向上・各施設の利用促進等を目的に、緑地内3館、藤子・F・不二雄ミュージアム、多摩区行政サービスコーナーを会場に指定管理者との連携により、例年夏休み期間中に実施している。

② 生田緑地関係者による連携・協力

生田緑地内の回遊性向上・各施設の利用を促進するため、緑地内3館、生田緑地整備事務所の市職員、指定管理者職員により広報会議、全体会議(毎月)等を定期的に行い、各施設の実施事業の情報共有、「イベントガイド」「もりのにじ」等の3館+生田緑地の広報紙の刊行、生田緑地ポスターの作成等を行っている。

(6) 博物館連携

神奈川県博物館協会の幹事館として、合同部会へ参加し、協会が開催する研修会の計画、協会が出版する刊行物の作成に携わるとともに、研修会当日の運営に協力した。

7 広報活動

科学館だより、プラネタリウムポスター等広報物の配布拡大、館ホームページ、SNS の活用による情報発信強化に取り組むとともに、報道機関への積極的な情報提供を行いながら新聞、雑誌、テレビ等様々なメディアにおける露出を高め、施設の存在や取組の周知促進を図った。

(1) ホームページアクセス数等

	閲覧等実績
ホームページ	524,139 (アクセス数)
X (旧 Twitter)	5,322 (フォロワー数)
Facebook	27,221 (投稿リーチ数)

(2) 外部メディアにおける報道・掲載数

受入日	掲載数等
新聞	21
テレビ・ラジオ	15
市政だより	12
雑誌	3
その他 (web など)	79

8 他施設交流

日本民家園、岡本太郎美術館、藤子・F・不二雄ミュージアムの半券所持者に対するプラネタリウム観覧料の割引適用等を実施した。この他、緑地内施設に所属する市職員、指定管理者職員による全体会議、広報担当者会議等に参加し、業務に関する情報交換、意見交換等を行った。

第3章 資料

1 刊行物

刊行物名	部数
科学館だより (隔月刊)	233,000
川崎市青少年科学館紀要第34号	100

※科学館だより (A4両面版) 年3回、市立小学校114校全家庭数に配布

2 利用案内

開館時間

午前 9 時 30 分～午後 5 時

休館日

毎週月曜日 (祝日の場合は開館)

祝日の翌日 (土曜・日曜の場合は開館)

年末年始 (12月29日～1月3日)

プラネタリウム一般投影観覧料

個人	一般	400 円
	高校生・大学生	200 円
団体	一般	320 円
	高校生・大学生	160 円
中学生以下		無料

ただし「身体障害者手帳」、本市発行の「福寿手帳」等を提示した方等は無料

プラネタリウム投影開始時刻 (令和 5 年度実績)

	1 回目	2 回目	3 回目	4 回目
土・日・祝日	10:30	12:00	13:30	15:00
	フュージョン	一般向け	子ども向け	一般向け
春夏冬休み期間中の平日	子ども向け	一般向け	子ども向け	一般向け
火、木、金曜日	学校向け学習投影 (一般観覧不可)			15:00
				一般向け
水曜日、第 1 木曜日	学校向け学習投影 (一般観覧不可)		13:30	15:00
			フュージョン	一般向け

川崎市青少年科学館年報
第 42 号 2023 年度（令和 5 年度）

2024 年（令和 6 年） 10 月発行

発行 川崎市青少年科学館（かわさき宙と緑の科学館）
所在地 〒214-0032 川崎市多摩区柁形 7-1-2
TEL 044-922-4731
FAX 044-934-8659
HP <https://www.nature-kawasaki.jp/>



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市